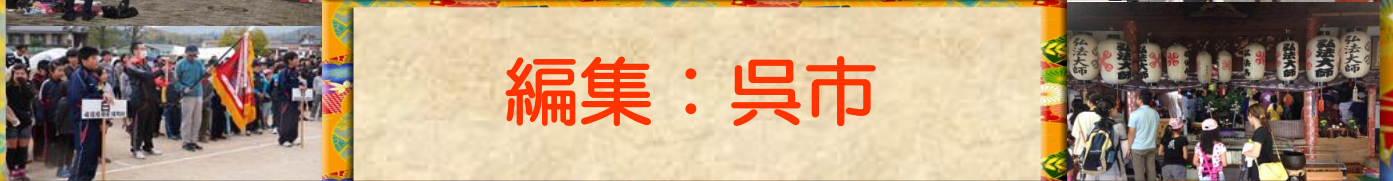




ゆめづくり事例集 2014



編集：呉市



まちづくり活動に積極的に取り組まれている地域の皆さんの活動状況をまとめた「ゆめづくり事例集」。2012年から始まり、今回、3冊目の2014をお届けします。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。


地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧いただき、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。

ゆめづくり事例集2014 目次





No	事業名	団体名
1	第13回 みずとひ祭り	第2地区まちづくり委員会
2	ふれあい朝市	第2地区まちづくり委員会
3	休山登山道の整備&シイタケ栽培	第2地区まちづくり委員会
4	第3地区住民交流日帰りツアー	第3地区まちづくり委員会
5	第3地区冬祭り	第3地区まちづくり委員会
6	Good-bye2014昔遊び・餅つきで育む地域・世代間交流フェスタ	第2地区・第3地区まちづくり委員会
7	長迫公園(旧海軍墓地)清掃	第4地区まちづくり委員会
8	防犯パトロール大会	第4地区まちづくり委員会
9	区域内防災訓練と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
10	安浦地区研修バスツアー	第5地区まちづくり委員会
11	わくわく子育てサロン	第5地区まちづくり委員会
12	明立小学校区合同防災・防火訓練	第4地区・第5地区まちづくり委員会
13	荘山田自然公園プロジェクト	第6地区まちづくり委員会
14	防災協定の締結・合同防災訓練	第6地区まちづくり委員会
15	第5回くれ中央地区夏まつり(くれ絆盆踊り大会)	くれ中央地区まちづくり委員会
16	第5回まるごと・中央地区ウォーキング大会	くれ中央地区まちづくり委員会
17	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区合同敬老会	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区社会福祉協議会
18	ふれあいまつり(夏まつり・盆踊り)	第8地区まちづくり委員会
19	とんど祭り	第8地区まちづくり委員会
20	ふれあい広場三条運営事業	三条地区まちづくり委員会
21	八畳岩登山(登山道整備, 登山)	三条地区まちづくり委員会
22	「語りべの会」と「今昔写真パネル展示」	三条地区まちづくり委員会
23	川原石地区盆踊り大会	川原石地区まちづくり委員会
24	まちづくりパートナー協定締結と防災訓練	川原石地区まちづくり委員会
25	第8地区, 三条地区, 川原石地区合同町民運動会等連携事業	中央西(第8地区, 三条地区, 川原石地区)連携事業実行委員会
26	中央地域成人式	中央地域成人式実行委員会
27	第24回 詩歌創作大会	吉浦まちづくり委員会
28	第9回 吉浦地区防災訓練	吉浦まちづくり委員会
29	よし浦まちづくり発見隊フィールドワークin三原	吉浦まちづくり委員会
30	第18回 警固屋さくら祭	警固屋まちづくり協議会
31	子ども避難体験事業	警固屋まちづくり協議会
32	自主防災再編・訓練事業	警固屋まちづくり協議会
33	まちづくり若者提案事業	阿賀まちづくり推進協議会

No	事業名	団体名
34	阿賀まち銘板事業	阿賀まちづくり推進協議会
35	今昔子どもふれあい大会	阿賀まちづくり推進協議会
36	第41回 広子ども祭	広まちづくり推進協議会
37	第66回 広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
38	第11回 広地区クリーン活動	広まちづくり推進協議会
39	仁方地区自主防災会合同訓練	仁方町まちづくり推進協議会
40	「春が楽しみ！チューリップ」事業	仁方町まちづくり推進協議会
41	「仁方歴史マップ」作成	仁方町まちづくり推進協議会
42	「宮原ホタルの里」	宮原地区まちづくり推進委員会
43	宮原地区合同防災訓練	宮原地区まちづくり推進委員会
44	「笹酒まつり」と「もちつき大会」	天応地区社会福祉協議会天応まちづくり委員会
45	天応町納涼盆踊り大会	天応まちづくり委員会
46	鯉のぼりの吹き流し	天応まちづくり委員会
47	第9回 昭和地区ふれあいフェスティバル	昭和地区まちづくり推進委員会
48	平成27年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事	昭和地区まちづくり推進委員会
49	郷原町民運動会	郷原町まちづくり推進委員会
50	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会
51	鯉のぼりの吹き流し	下蒲刈地区グランドゴルフ喜楽会
52	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク	呉市川尻町まちづくり委員会
53	川尻町新成人を祝う会	川尻町新成人を祝う会実行委員会
54	川尻町敬老会	川尻町地区社会福祉協議会
55	かわじり元気まつり	川尻町元気まつり実行委員会
56	2014おんどフェスティバル	音戸町まちづくり協議会
57	トワイライトふれあいフェスタ	音戸町まちづくり協議会
58	島コンin倉橋（広島県最南端で見つける恋）	宝島くらはしまちづくり協議会お宝婚活部会
59	くらはし お宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会お宝朝市部会
60	第14回 かまがり恵みフェア	蒲刈町まちづくり協議会
61	ええとこ村プロジェクト事業（遊休農地活用）	安浦町まちづくり協議会
62	後生に残す「まちしるべ石碑」事業	安浦町まちづくり協議会
63	人材育成研修事業「安浦たんと塾・先進地研修」	安浦町まちづくり協議会
64	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
65	第10回 豊町産業文化祭	豊町まちづくり協議会
66	豊町七夕納涼祭	豊町まちづくり協議会
67	豊町町民運動会	豊町まちづくり協議会

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	第13回 みずとひ祭り			事業費	約452,000円
事業の目的	<p>第2地区まちづくり委員会では、人と人とのふれあいを大切に、活力あるまちづくりに資することを目的として、みずとひ祭り・文化交流会・ふれあい朝市などを実施してきました。その中でも夏に行われる「みずとひ祭り」は、子どもから高齢者まで、地域をあげて多くの人が参加するビッグイベントとして定着しました。今後も、地域内外から多くの人が参加し、人と人とのつながりや交流が広がるよう、内容を充実させることが必要だと考えています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成26年8月14日(木) 午後5時30分～午後9時 ・場所 和庄小学校校庭及び体育館 ・内容 小学生以下を対象としたジャンケン大会 お楽しみ抽選会 和庄中学校及び清水ヶ丘高校吹奏楽部の演奏 神楽の鑑賞 地域の人たちによる模擬店(焼き鳥, 焼きそば, かき氷, 綿菓子他) ・来場者 約850名 ※年配の方が多く、テントを立てるのも大変だったが、和庄中学校の生徒約30名がボランティアとして手伝ってくれたおかげで助かりました。 				
この事業を企画・実施した人	<p>・第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会や民生委員等と話し合いながら企画立案しました。地域ボランティアの多数の参加もあり、地域全体で盛り上がるイベントにしました。</p>				
苦勞した点	<p>当日の天候が心配されたため、当初予定していたレイアウトを、急遽前日に変更しました。模擬店を体育館周辺に設営するなど苦勞しましたが、逆に、会場がコンパクトになったことで、後片づけが楽になり、手伝う方の負担軽減になりました。来年は、天気が良くても今回と同じ設営で実施したいと思っています。</p>				
活動状況	 <p>吹奏楽の演奏</p>		 <p>屋台の様子</p>		
	 <p>抽選会の様子</p>		 <p>神楽の観賞</p>		

番号	2	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	ふれあい朝市			事業費	約209,000円
事業の目的	<p>市町村合併を契機に地域内、地域間交流を目的に始めたふれあい朝市も今回で9回目を迎えました。現在では、多くの来場者で賑わうなど、夏はみずとひ祭り、冬はふれあい朝市と呼ばれるほど、地区内を代表するイベントとして定着し、地域の活性化に貢献しています。ふれあい朝市では、至る所であいさつや世間話を楽しむ光景が見られます。中には、朝市のおかげで、しばらく会っていなかった人に再会し話しができた方もおられます。今では、地区外から買いに来られる方もいて、他地域との交流も生まれています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時 平成26年3月16日(日) 8:30～11:30 ・場 所 本通第3公園(元町公園) ・内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアがつくった物品の販売 (もち かき飯 押し寿司 たこ焼き コロッケ等) ・協力地域からの農産物(かんきつ類)等の販売 (倉橋, 下蒲刈) ・健康増進課による健康づくりコーナーの設置 (骨密度の測定, 健康相談及び減塩豚汁の振る舞い) ・来場者 約850名 				
この事業を企画・実施した人	<p>・第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会、民生委員、地域ボランティア等と話し合いながら企画立案しました。夏に行われる「みずとひ祭り」と同じように、地域全体で盛り上がるイベントにしました。</p>				
苦労した点	<p>苦労した点ではないが、朝市には多くの来場者があることから、情報収集や情報発信の場として利用することも重要になると思います。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ふれあい朝市の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ふれあい朝市の様子</p>				




番号	3	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	休山登山道の整備&シイタケ栽培			事業費	約130,000円
事業の目的	<p>第2地区のシンボルである休山への登山道。かつて休山登山道の入口にある清水谷は、その名の通り清水が湧き出ていました。しかし、土石流などで水汲み場は壊れ、いつのまにか湧き水のことを知る者も少なくなりました。</p> <p>そこで平成22年に登山道整備にあわせて、この名水を復活させました。今では、登山者用休憩所、水飲み場及び地域住民の憩いの場として利用されています。今後は、登山道(尾根道の出会いまで)の整備、登山道沿いの植樹及び休憩所(竹風庵)の維持管理を行います。また、名水の水質管理及び周辺清掃、さらに、地元の小学生の自然観察・環境学習の場所として「シイタケ栽培」が軌道に乗り毎年収穫することが可能になれば、学校に紹介し学習に活用してもらいたいと思い、この事業を継続しています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成22年4月から継続中 ・場所 休山登山道とその周辺 ・内容 平成22年度:地域の力で、案内板の整備や登山道の倒木の撤去などを実施 平成23年度:休山登山道の植樹, 自然観察の教材づくり(シイタケのホダ木作り) 平成24年度:休山登山道沿いの整備と桧垣川の清掃, 桧垣川上流部の清掃とシイタケホダ木の設置 平成25年度:シイタケ栽培研修 シイタケホダ木(200本)菌打ち込み 清水谷名水整備 平成26年度:周辺清掃 除草 ホダ木本伏せ そーめん流し ウォーキング おでん祭り 収穫したシイタケをボランティアメンバーに15回に分けて配布した。 				
この事業を企画・実施した人	<p>・第2地区まちづくり委員会が「地域の特色を生かした元気なまちづくり」を目標に、長期的な計画を立てました。第2地区の自治会長とともに民生委員や、地元小学校のPTAとの協力の中で生み出された計画です。</p>				
苦労した点	<p>・まむし、イノシシ対策</p>				
活動状況	 <p>ウォーキングで現地まで</p>		 <p>現地</p>		
					
	健康づくり(登山道ウォーキング)とおでん祭り				





番号	4	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区住民交流日帰りツアー			事業費	約350,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流を図り、結びつきを強める。(世代間交流も含む。) ・地域活動の担い手を発掘する。 ・地域の子どもは地域が育てる意識を醸成する。 				
事業概要	<p>【日 程】平成26年12月7日(日) 【平成19年度から毎年12月上旬頃に実施】</p> <p>【行き先】観光農園(三次市)</p> <p>【対象者】地域の子どもからお年寄りまで毎年100~180名程度 平成26年度は、178名参加(うち子供は36名)</p> <p>【内 容】野外活動を通じて地域内の世代間交流や青少年の健全育成を推進するために開催しています。例年は倉橋町 鹿島社会教育施設(小学校跡)で、飯ごう炊さん、みかん狩りなどの体験キャンプを行っています。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会 「ふれあい」のあるまちづくり部会				
苦勞した点	平成26年度は、受け入れ先の事情(みかん畑の状況など)により、三次の観光農園に代えた。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>総勢178名 農園へ到着</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>農園維持管理の講義</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>農園へ移動</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>雪中でりんご狩り</p> </div> </div>				

番号	5	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区冬祭り			事業費	約320,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承 ・子どもの健全育成 ・楽しみながら、安全安心なまちづくりを考える場づくり 				
事業概要	<p>【日時】平成27年2月1日(日)9:00~12:00 【場所】本通小学校グラウンド 【内容】 平成22年度に、30年ぶりの復活を果たした、「とんど焼き」を中心とした、地域の子どもと大人が交流できる事業で、今年は5回目にあたります。 とんど焼きの他に、防災訓練、交通安全教室、餅つき大会、大人と子どもの遊び、ものづくり教室、地域特産品等の販売など、盛りだくさんな内容となっています。 ものづくり教室、パン食い競争、餅焼きなど、子ども達が楽しむ姿が印象的でした。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>【企画】まちづくり委員会 地域文化の伝承部会 【実施】第3地区自治会連合会・本通小学校・PTA・ソフトボール同好会・地区子供会 和庄中学校有志・呉警察署・呉市消防局西消防署・呉市消防団呉東地区隊本通分団 第3地区内の商業振興部会・地域内外の有志・呉市</p>				
苦勞した点	<p>とんど設計・製作及び材料集め 警察、消防及び各種団体との連携・調整 とんどの焼却灰の処理</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>一週間前にとんど組み立て</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>燃え上がるとんどを見守る人々</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>防災訓練(写真奥は交通安全教室)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>残り火で餅焼き</p> </div> </div>				





番号	6	団体名	第2地区、第3地区まちづくり委員会	代表者	城 健康, 齊藤 晴彦
事業名	Good-bye2014昔遊び・餅つきで育む地域・世代間交流フェスタ			事業費	約344,000円
事業の目的	<p>近年、子どもを取り巻く地域・社会環境は、事件・事故等多くの課題を抱えています。子どもにとって安全・安心なまちづくりを実現するためには、地域ぐるみで児童の健全育成活動を推進する必要があります。その活動の一つとして、和庄小学校を通学区域とする子ども達が地域の人と一緒に正月の伝統的な「昔遊び・もちつき」を体験し、地域の異世代の人々と交流を持つことにより、地域の人と顔なじみになり、日頃の挨拶も活発に行われるなど、子どもを取り巻く環境や安全に対する住民の意識も高まるものと考えられます。祖父母→お父さん・お母さん→お孫さんと次世代への伝統文化の継承及び地域・世代間の交流を通して、高齢者が生き甲斐を持ち地域社会に貢献するとともに、子ども達も地域文化に目覚め、地域の人々と豊かな関係性を持って成長することを目指します。</p>				
事業概要	<p>・日 時 平成26年12月28日(日) 9:00~12:30 ・場 所 和庄小学校校庭 ・内 容 昔遊び体験コーナー ・こま回し、けん玉、凧揚げ及びお手玉の4つのコーナーを設け、子ども達が地域の方に教えてもらいながら昔遊びを一緒に体験します。 ふれあいもちつき大会 ・杵でのもちつきや足踏み式もちつきを体験します。 ・つきたての餅をぜんざいにしたり、きな粉やしょうゆをつけて食べます。 大声大会 子どもが今年の反省、来年の目標を大声を出して競います。 なお、当日、ベトナム人研修生等13名が行事に参加し、積極的に手伝ってくれたことにより、地域、世代間及び国際交流を深めることができました。 ・参加者 約300名</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>事業を実施するため、和庄小学校区合同「昔遊び」が育てる地域・世代間交流事業実行委員会を立ち上げました。第2地区まちづくり委員会の城会長を実行委員長に第3地区まちづくり委員会 瀧川理事を副委員長とし、地域の共通課題(地域・世代間交流)解決に向けて、双方のまちづくり委員会による20名の実行委員を中心に企画・実施しました。なお、財源については、市民ゆめ創造事業交付金(地域間連携推進事業)を充てました。</p>				
苦勞した点	<p>・和庄小学校区の二つのまちづくり委員会相互の連絡調整</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>こま回し体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>けん玉体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>足踏み式もちつきを体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>外国人研修生のもちつき体験</p> </div> </div>				

番号	7	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	長迫公園(旧海軍墓地)清掃			事業費	約73,000円
事業の目的	<p>長迫公園(旧海軍墓地)をお盆前に地区内の住民が清掃しています。戦後、荒れ果てていた旧海軍墓地を近隣住民が自主的にきれいにしていました。これまで約60年もの間、清掃活動を継続しています。清掃後は、参加者全員で慰霊祭壇に黙とうを捧げています。第4地区は範囲が広いが、長迫公園から遠方の住民も参加しています。子ども会もラジオ体操の後にこの清掃活動に参加しており、地域の大切な行事として次世代にも引き継がれています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時 平成26年8月12日(火) 午前6時50分 清掃開始 午前8時 慰霊祭壇に黙とう ・場 所 長迫公園(旧海軍墓地)園内道路や水路を含む周辺一帯 ・参加者 約150名 ・内 容 ・清掃 参加者で公園内の植栽、園路、溝、水路、石垣の法面などの全体を清掃します。 参加者に清掃用の手袋と熱中症対策の飲料水を配付します。 ・黙とう 清掃後、慰霊祭壇に参加者全員で黙とうを捧げます。 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・第4地区自治会連合会とまちづくり委員会 (公園でラジオ体操を行っている子ども会も参加) 				
苦勞した点	<p>高齢者や子どもが多く参加したため安全対策に苦勞しました。(熱中症、けが、まむしなど)</p>				
活動状況	 <p>清掃活動のはじまり</p>		 <p>清掃範囲の説明</p>		
	 <p>清掃活動</p>		 <p>慰霊祭壇に黙とう</p>		

番号	8	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	防犯パトロール大会			事業費	約210,000円
事業の目的	地域住民の犯罪予防に対する意識を喚起し、住民と関係機関が連携して犯罪のない地域社会を構築することを目的とし、年の瀬を迎える11月に、第4地区では一斉防犯パトロール大会をまちづくり委員会の主催で開催しています。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成26年11月9日(日) 午前10時 ・場所 長迫小学校体育館 ・参加人数 約350名 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・当日雨天のため、防犯パレードは中止し、式典のみ体育館で行いました。 ・アトラクションが好評でした。 (和庄中学校のブラスバンド演奏 平原保育園児の遊戯) ・平原保育園児による「ガンバロウ」の三唱 ・女性会より「ぜんざい」が振る舞われました。 				
この事業を企画・実施した人	・まちづくり委員会内の地域の防犯・防災を担当する「安全部」が中心となって開催。地元女性会とも連携を取っています。				
苦勞した点	今年も、昨年同様、天候不良のため防犯パレードを中止し、長迫小学校体育館で式典のみ行ったが、参加者に配るぜんざいを3階体育館まで運ぶのが大変でした。				
活動状況	 <p style="text-align: center;">式典の様子</p>		 <p style="text-align: center;">和庄中学校スラスバンド演奏</p>		
	 <p style="text-align: center;">園児のアトラクション</p>		 <p style="text-align: center;">女性会によるぜんざいの振る舞い</p>		





番号	9	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	区域内防災訓練と防災備品整備			事業費	約1,100,000円 (訓練, 備品合計)
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、急峻な地形が複数の河川や谷などを形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>このような中、住民アンケートで最も関心の高かった「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を3ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>				
事業概要	地区	惣付地区	東中央地域	辰川・畝原地区	明立小学校区
	日時	H26.6.23(日)	H26.11.30(日)	3月下旬予定	H26.7.18(金)
	場所	惣付公園	荘山田小学校	辰川会館	明立小学校
	参加者	約100名 幼小中学生, 地域住民	約150名 幼小中学生, 地域住民		4地区まちづくり委員会との合同事業 詳細は別シートで説明
	内容	①②③④⑦	②③⑤⑥⑦		
<p>①消火訓練, ②搬送訓練, ③救命(AED)訓練, ④119番通報訓練, ⑤ロープ結索方法⑥煙中体験⑦講話(クイズ)</p> <p>・防災用品収納倉庫:H23:4か所新設, 1か所改修(旧辰川小体育館下倉庫) H24:5か所新設 H25:2か所新設・1か所共用(4自治会は自治会で倉庫を設置済み), 炊き出し用釜2セット購入 H26:炊き出し用釜2セット, 大型扇風機10台, 発電機2台, 会議机29台購入 →拠点避難所(明立小学校, 荘山田小学校, 辰川会館, 惣付ふれあい集会所), 準拠点避難所(第5地区集会所)に配備</p>					
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、各ブロックごとに、所属する自治会長が中心となって、会場準備や消防との調整、物品の準備、当日の運営などを行いました。</p>				
苦労した点	<p>※子どもからお年寄りまで、地域に住む皆さんが参加できるように、学校や幼稚園などと協力して実施できるよう調整しました。また、体験的プログラムを取り入れ、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。災害は、いつどこで起こるかわからないので、開催日時と場所を考えました。休日の午前だけでなく、終業式後に実施した箇所もあります。</p> <p>会場は、地域の防災拠点ごとに設定しました。特に小学校は重要で、校区が第5、第4地区にまたがっている「明立小」は、「学校区」という単位でまとまって訓練できるよう協働事業で実施しました。</p> <p>※これらの活動により、平成25年度中に全自治会に自主防災会が結成されました。防災用品は、自主防災会設立と同時に設置・購入計画をたて、数年間をかけて整備していきます。</p>				
活動状況					
	救命(AED)訓練		煙中体験		
					
	毛布による搬送訓練		炊き出し訓練		

番号	10	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	安浦地区研修バスツアー			事業費	約250,000円
事業の目的	<p>第5地区内には2つ小学校があり、4つの学区にまたがっています。まちづくり委員会では、未来を担う子どもたちが、同じ地域で学区の枠を超えて交流し、健やかに育つよう、交流の場や学びの場を作ることが大切であると考えました。そのため、地区内に住む幼児、小学生とその保護者、地域の皆さんを対象に、呉の歴史や地域ごとの特色を学び体験するバスツアーを計画、実施しています。</p> <p>26年度の目的地は安浦地区。地元の皆さんにガイドしていただき、メガソーラー施設や現在は防波堤として使用されているコンクリート船「武智丸」を見学し、ウォーキングコースにもなっている三津口八十八カ所巡りを行い、安浦の魅力を再発見することが出来ました</p>				
事業概要	<p>日時 平成26年8月18日(月) 午前9時30分出発, 午後4時30分散 参加者98名 (幼児5名, 小学生44名, 保護者・関係者49名) 訪問先 ◎安浦地区散策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのグループに別れ、地元ガイドの皆さんの解説を聞きながら、古い大師像が残る安浦町三津口地区を散策しました。 ・現在と過去を象徴する建造物であるメガソーラー施設と、コンクリート船「武智丸」を見学し、自然豊かな野呂川ダム公園で昼食をみんなで食べました。 ・帰りは、野呂山山頂の歴史的な建造物である弘法寺を訪れ、地元ガイドの方から詳しい説明をしていただきました。 				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の「未来へつなぐまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、見学先の選定や事前打ち合わせ、観光ボランティアとの調整、当日の運営などを行いました。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流が図られるような企画内容にするため、地区社会福祉協議会と協力して事業を実施しました。 ・充実したプログラムにしたいと考え、事前に現地に行き、受け入れ先の観光ボランティアと調整を行いました。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>野呂川ダムでの美味しい昼食</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>現在は防波堤のコンクリート船「武智丸」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>お地藏さんめぐり</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>弘法寺の説明を受ける研修参加者</p> </div> </div>				

番号	11	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	わくわく子育てサロン			事業費	約30,000円
事業の目的	<p>第5地区まちづくり委員会では、まちづくり計画の5つの柱のひとつ「住んでいる人にやさしいまちづくり」を推進するため、部会を組織し、子どもから高齢者まで住んでいる人が多くの人と関わり合いが持てるような事業を実施しています。</p> <p>その中で、子どもたちが健やかに育ち、子育てに悩むお母さんが孤立しないよう、地域でサポートしようと「わくわく子育てサロン」を計画しました。年4回程度、山田福祉会館を会場に、毎回、育児・医療・安全など子育てに関するテーマを設定し、民生児童委員や市の担当者等の指導で、わきあいあいと楽しいひとときを過ごしてもらいたいと思っています。</p>				
事業概要	<p>日時:H26. 7. 4(金) 場所:惣付ふれあい集会所 参加: 幼児24名, 保護者21名 内容: ・七夕飾りづくり ・絵本のよみかたり ・はじめよう減塩生活 ・七夕のお遊戯会</p>	<p>日時:H26. 10. 6(火) 場所:山田福祉会館 惣付ふれあい集会所 参加: 幼児37名, 保護者32名 内容: ・お月見会 ・絵本のよみかたり ・歯のみがきかた ・ウォーキングの効用・おうたのきょうしつ</p>	<p>日時:H26. 12. 17(金) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児19名, 保護者17名 内容: ・クリスマス会 ・絵本と紙芝居・折り紙づくり・乳幼児の救急措置</p>	<p>日時: H27.2.25(水) 場所:惣付ふれあい集会所 内容: ひなまつりを予定</p>	
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の「住んでいる人にやさしいまちづくり部会」(9名)のメンバーが、民生児童委員や地区社会福祉協議会と連携して広場を運営しています。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたり、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会と協力して事業を実施しました。 ・サロンが行われる時だけでなく、地域に帰って日常生活を送る時に、お母さんと子どもが孤立しないための工夫が必要です。参加者同士・参加者と地域住民のふれあいを重視しています。 ・参加者が増加し、会場の山田福祉会館が手狭になっています。 				
活動状況	 <p>お歌を歌ったり、お遊戯したり</p>		 <p>楽しい紙芝居</p>		
	 <p>保健師の健康教室(歯の健康)</p>		 <p>みんなで折り紙を楽しみました</p>		

番号	12	団体名	第4地区, 第5区まちづくり委員会	代表者	中塩幸一, 土本敏明
事業名	明立小学校区合同防災・防火訓練			事業費	約288,000円
事業の目的	<p>隣接する第4地区と第5地区は、互いに市内中心部から灰ヶ峰, 休山中腹に向け住宅が密集する地域にあります。急峻な地形が複数の河川や谷などを形成し、急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難について同じ不安を抱えています。</p> <p>そんな中、「住民が連携・協働して防災に関する知識や技術の習得しよう」「地域にあった防災対策を考えよう」という地域防災意が高まってきました。その結果、明立小学校区を通学区とする住民が中心となり、「呉市市民ゆめ創造事業・地域間連携推進事業」により、2つのまちづくり委員会が合同して研究するための防災・防火訓練を実施することになりました。</p>				
事業概要	<p>日 時:平成26年7月18日(金)14:00~16:30 場 所:呉市立明立小学校 参加者:517名 実施主体:明立小学校合同防災・防災訓練実行委員会 内 容:・消防による救助訓練見学(一箇所吊り担架救出) ・4グループに分かれ実地訓練 (ロープ結索法, 救急搬送法, 煙中体験, 応急手当法(AED)) ・炊き出し訓練 ・水消火器体験(幼児) ・避難誘導 ・防災研修(熱中症対策, 津波ハザードマップについて)</p>				
この事業を企画・実施した人	この訓練を実施するため、「明立小学校合同防災・防災訓練実行委員会」を立ち上げました。会長 第5地区まちづくり委員会 土本会長, 副会長 第4区まちづくり委員会 中塩会長を中心に、双方のまちづくり委員会による22名の実行委員で企画・実施しました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・いきなり全体同士が連携するのでなく、テーマを絞り連携できるところから取組をはじめました。 ・災害は、いつどこで起こるかわからないので、開催日時と場所を考えました。1学期の終業式後、子どもが一旦帰宅した日時で実施しました。 ・その結果、参加者は「そのとき地域に残った人で何ができるのか」と、問題意識をもって参加できました。 ・小学校の全面的な協力がなければ、この訓練は実施できませんでした。 ・2地区を校区とする中学校にも協力していただきました。その結果、校区外の中学生の参加もありました。 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>幼児による水消火器訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>炊き出し訓練の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>救急搬送法体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>救助訓練見学</p> </div> </div>				

番号	13	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	荘山田自然公園プロジェクト			事業費	毎年約100,000円
事業の目的	<p>・地域の遊休地整備を行い、かつてどこの地域でもあった「里山」の復活を目指すことで、自然の大切さを地域で共有する。</p> <p>・地域の宝として自ら整備することで、自然公園を大切に、子どもに自然を感じてもらい、世代間交流を図り、地域に愛着を持ってもらう。</p>				
事業概要	<p>環境保全活動や自然体験活動などを通じ、自然とふれあい、その大切さを地域内で共有する取り組みです。昔は田畑があり手入れされていたが、今は遊休地となっている土地を、眺望が素晴らしい隠れた地域の名所として復活させるため、自然公園として再整備を始めました。今年、目印になる看板も設置しました。</p> <p>【場 所】 江原地区一体の丘の上 【会 議】 毎月第3木曜日 【現場整備】 毎月第4土曜日午前中 【イベント】 (春) 3月・・・「あなたの木は、元気かな?会Part2」 → 雨天中止 (秋) 11月・・・「あなたの木は、元気かな?会Part3」 → 57名参加 イベントは、春・秋に毎年開催。 【広報】 毎月発行する地域コミュニティ紙「今ドキっかわらばん」に掲載。イベント過去参加者には、ハガキを郵送。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の荘山田自然公園プロジェクトが中心となって企画立案するとともに、社会福祉法人かしの木や事業に賛同する人たちが協力して作業に当たりました。</p> <p>賛同する方々には、ボランティア登録をしてもらい、整備ボランティア時には真っ先に声をかけるようにしています。</p>				
苦労した点	<p>・炎天下の中での作業 → 6月～9月は活動開始時間を早め、作業時間を短縮しました。</p> <p>・3年ごとの中期計画を立てて計画的に整備しています。</p> <p>・伸びる草木への対応 → 毎月定期的に会議と作業を行い、作業効率を高めました。</p> <p>・作業を継続的に行う難しさ → 半年に1回はイベントを開催しています。また、桜の開花時期が続くよう、およそ120本50種類の苗木を選んで植樹しました。</p> <p>・ボランティア・人材育成 → 住民に対するコミュニティ紙による広報や中学校生徒への呼びかけ等を継続して行います。</p>				
活動状況	 <p>あなたの木は、元気な会の様子</p>		 <p>樹木は順調に育ってます</p>		
	 <p>看板の前でハイポーズ</p>		 <p>ウォーキングコースにもなってます</p>		

番号	14	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	防災協定の締結・合同防災訓練			事業費	約300,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における自助・共助の地域力を強化すること。 ・地区住民に避難場所の確認と意識付けを行うこと。 ・避難時の問題点の洗い出すことにより、有事の際に多くの命が助かるようにするため、住民の危機管理意識を育てること。 ・まちづくりの柱の一つに位置づけ、地域が一体となって、危機意識を持って取り組むことで、地域の一体感(絆)が生まれる事業にする。 				
事業概要	<p>【日時・場所】平成26年11月28日(金)11:30~13:30 片山中学校</p> <p>【地元企業の参加】企業の地域貢献の一環として、災害時に藤三片山店から非常食と飲用水等の搬入を訓練の一部として取り組んだ。</p> <p>【防災訓練の内容】11時30分に震度6の地震があったことを想定して、地域内の幼・小・中・福祉施設・住民全ての人が、地域の避難場所としての片山中学校に避難し、グラウンドで全員の安否確認を行った。</p> <p>その後、グラウンドで、消防局による救助のデモンストレーションや、藤三から搬入された非常食を使った炊き出し訓練、片山中の教室を使用した煙中訓練や水消火器による初期消火訓練も行った。また、災害に備え飲料水100ケースを片山中学校内に備蓄するとともに、昨年自治会等に配備した非常用発電機等の運用訓練も実施した。さらに、今回初めて、中学生による避難所設営訓練(被災者受付)や園児の避難誘導訓練も実施し、地域の将来を担う若い人材の育成にも繋げることができた。</p> <p>【防災協定】まちづくり委員会では、平成24年に地元の藤三片山店と災害時の避難所としての敷地の一部使用や食糧等の優先的な購入等についての防災協定を締結している。</p>				
この事業を企画・実施した人	総勢約800人 第6地区まちづくり委員会 第6地区自治会連合会 片山中学校 荘山田小学校 至心幼稚園 社会福祉法人かしの木 (株)藤三 東中央交番 西消防署 消防団呉中央分団				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の訓練で出た課題解決のため、今年は中学生による避難所設営訓練と幼稚園児の避難誘導などを行った。 また、地域のリーダーには、当日の役割や動きの確認をするため、直前に再度、説明会を行った。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>炊き出し訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>中学生による避難誘導</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>小学生による初期消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>消防局による救助訓練</p> </div> </div>				

番号	15	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦 木村 公一
事業名	第5回 くれ中央地区夏まつり(くれ絆盆踊り大会)			事業費	約800,000円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣、伝統行事がないので、地区の祭りがなく、高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また、近年マンション等の住民は増えていますが、自治会に加入していない方も多いため、若い世代が地域行事に参加する機会が少なくなっています。</p> <p>このような中、交流と賑わいの場を創り出すとともに、地域の方の参加意識の向上を目指して、気軽に楽しく参加できるイベント「くれ中央地区夏まつり」を実施しています。</p> <p>なお、昨年第4回から、場所を体育館前の児童公園から、中央公園噴水西側に移し、ステージを組んで、呉市文化団体連合会民舞民謡部の方々等による「呉音頭」講習と「盆踊り大会」を盛大に開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成26年8月23日(土) 16:00～21:00 ※準備は13:00～、後片付け終了は22:00</p> <p>場所 中央公園噴水西側</p> <p>内容 模擬店運営 かき氷600人分、フライドポテト20kg200人分、たこ焼き1,000個、焼きそば480人分、 フランクフルト400本、焼き鳥900本、コロツケ400個、唐揚げ60kg、すぎやカレー、 飲み物(生ビール、缶ビール、ジュース)、枝豆5kg100人分 こども広場運営 ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、当てくじ、お宝釣り、輪投げ、コイン落とし、 水鉄砲、お楽しみ抽選会(うちわくじ) 宝探しゲーム、くれ絆盆踊り、子ども花火、神楽 ※ 今年は売り上げの一部115,880円を広島土砂災害の義援金とさせていただきます。</p>				
この事業を企画・実施した	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会と青少年育成部会が中心となって企画立案するとともに、他の部会と民生委員、行政(市、警察、消防団)、くれ絆盆踊り実行委員会などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>昨年から、会場を広げて模擬店・子供広場を工夫し、ステージを設営するなど地域の方々等総出で運営しています。昨年同様に地元ボーイスカウト・ガールスカウトによるブラスバンド、和太鼓ロック、ジャズバンド、子どもお楽しみ抽選会、盆踊り大会などのほか、今年は宝探しゲームや神楽の上演を加えました。年度当初から準備委員会を立ち上げ、祭りを例年より時間延長することとしたため、タイム設定・進行に最後まで気を配りました。また、RCC「お宝ハンターくれきん団」出演や公園周辺に事前に立て看板を設置するなど、事前広報に努めました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>夏祭り全景</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>キッズコーナー風船釣り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>呉音頭で盆踊り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>子供花火</p> </div> </div>				


番号	16	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦
事業名	第5回 まるごと・中央地区ウォーキング大会			事業費	約42,000円
事業の目的	<p>中央地区は、駅に近いことから、市外へ通勤通学する方が多く、またオフィスビルも多いため、昼間人口と夜間人口の動きが激しくなっています。また、マンションが多く、共働き世帯も多いことから、人のつながりが希薄になっています。</p> <p>このような中、自治会加入者と未加入者、また地域内に住む方と地域内で働く方など、多くの方が交流し、楽しく健康づくりができるよう、「まるごと・中央地区ウォーキング大会」を実施しています。</p> <p>また、中央公園児童公園で、防災訓練炊き出しを行い、ウォーキングを終えて帰った参加者に、今年は肉じゃがを提供し、疲れを癒やしました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成26年5月17日(土) 午前9時～午後1時</p> <p>参加者 127名内容</p> <p>ゆったり散策コース 1km 中央公園→二河川大平橋(木造)→往復→中央公園</p> <p>のんびり二河峡清流コース 3.5km 中央公園→山手橋→二河峡→二河峡橋→呉中央学園→中央公園</p> <p>健脚コース(上井手跡散策) 4.5km 中央公園→弓道場→展望(案内板)→上井手道→西辰川→郷町→岩方通→中央公園</p> <p>※ ゴール後、中央公園で防災訓練(肉じゃが炊き出し)を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の健康づくり部会(メンバー10人)が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員、防犯パトロール隊、健康増進課職員(健康くれ体操)などが協働して運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>過去4回同じコースが続いたため、今年は、各コースとも、新たに設定し直しました。お年寄りや子どもの参加者が多く、交通量の多いまちなかのコースでの安全確保をしっかりと行うため、防犯パトロール隊を始め、まちづくり委員会メンバーが先導やコース管理などを行い、安心してウォーキングを行うことができるよう注意しました。</p>				
活動状況	 <p>中央公園に集合・受け付け</p>		 <p>準備運動(健康くれ体操)</p>		
	 <p>健脚(上井手跡散策)コース</p>		 <p>防災訓練肉じゃが炊き出し</p>		

番号	17	団体名	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 社会福祉協議会	代表者	前田 雄司・瀧川 侃志 (平成26年度)
事業名	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 合同敬老会			事業費	1,500,000円
事業の目的	<p>高齢化の進展に伴い、お年寄りの数が増える一方、社会の大きな転換期にある中、お年寄り以外の地域の担い手を確保することが難しく、「お年寄りを祝う」ための敬老会を、単位自治会や地区自治会連合会・地区社会福祉協議会単位ごとに、「お年寄り以外の手で」開催することが難しくなっています。</p> <p>このような中、行事に係る事務の簡素化とイベント規模の維持・拡大、また地域間の交流・連携を図ることを目的として、平成21年度から、中央地域の複数の地区社会福祉協議会が「合同敬老会」を共同開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成26年9月13日(土) 13時～15時30分 場所 呉市文化ホール 来場者数 約1,400名 内容 【式典の部】司会:吉本みほこさん(第2地区) 【演芸の部】司会:脇 秀典 会長(第3地区) ・楽器演奏(呉市立呉中央中学校吹奏楽部) ・呉警察署講話(振り込め詐欺にご用心) ・園児遊技(西方寺幼稚園) ・各地区出し物 (第2・第3・第5・中央地区合同100人コーラス, 第3地区みんなで唄いましょう) ・歩一歩体操(社会福祉協議会) ・神楽鑑賞(大森神楽団「悪狐伝」)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>第2地区・第3地区・第5地区・中央地区社会福祉協議会の会長が幹事役を持ち回り、会長及び役員、呉市(地域協働課)の協働により、6月から会議を重ねてイベント内容について協議しました。</p>				
苦労した点	<p>招待者にゆったりと楽しいひとときを過ごしていただけるよう、アトラクションの内容については毎年協議を重ねています。今回も、中学生による楽器演奏は感動的で、園児の明るく懸命な遊戯には、大きな暖かい拍手が起こりました。メインの神楽は、しばし時間を忘れる程の熱演で人気の一つです。なお、来年から招待者に事前に配布する「敬老会の案内状」に、当日何があるのか演目等を記載したら、わかりやすくして参加しやすいのではという意見がありました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>式典(主催者挨拶)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>みんなで唄いましょう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>園児遊戯</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>神楽鑑賞</p> </div> </div>				

番号	18	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	中田 清和
事業名	ふれあいまつり(夏まつり・盆踊り)			事業費	250,000円
事業の目的	<p>今年度で第12回目を迎える「ふれあいまつり」には、地区内の各自治会が、おでんやカレーなどの夜店を出店している。また、子ども会による輪投げなどのゲームコーナー、そして、盆踊り(呉音頭)も行われ、地域が一体となって開催する第8地区の夏の風物詩となっています。</p> <p>ふれあいまつりによって、自治会等のコミュニティ組織の一層の活性化が図られるとともに、盆踊りや呉音頭を次世代に引き継ぐなど、地域の伝統文化の継承と世代間交流が促進されています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成26年8月24日(日) 午後6時～午後8時30分 ・場所 二河川公園, 二河川河川敷 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・夜店(二河川公園) カレー, おでん, やきそば, ジュース・かき氷, ビール, フランクフルト, フライドポテト, 枝豆, やきとり (メニューは同じだが, 毎年, 担当自治会がローテーションで変わる。) ・ゲームコーナー(二河川河川敷) 輪投げ, ヨーヨー釣り, スーパーボールすくいなど(子供無料) ・盆踊り(二河川河川敷) 呉音頭にあわせて踊る。 				
この事業を企画・実施した人	地区社会福祉協議会とまちづくり委員会が協力して実施 (子ども会, 呉音頭普及部会, 各自治会も参加)				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年, 夜店で出す食べ物などのメニューを各自治会がローテーションで担当するため, 材料の調達や準備などが毎年変わり, その対応に苦慮していたが, レシピ等を作成して次の自治会に引き継ぐことによって改善を図っています。 ・今年は, 隣の中央地区の夏祭りと同じ日時が重なったため, 当地区の参加人数に幾分影響があったかもしれません。次回は, 周辺地区の夏祭りの日程を見ながら, 場合によっては開催日時を検討する必要があるかもしれないとの意見もみられました。 				
活動状況	 <p>「ふれあいまつり」のはじまり</p>		 <p>子供ゲームコーナー(無料)</p>		
	 <p>夜店</p>		 <p>盆踊り</p>		

番号	19	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	中田 清和
事業名	とんど祭り			事業費	
事業の目的	<p>心ふれあうまちづくりの推進のため、地区社会福祉協議会を中心に、地元青年団、消防団の協力によって、地区内の恒例伝統行事として毎年開催しています。</p> <p>市中心部では「とんど」を行っているところは少なく、第8地区では、近隣地区からもしめ飾りを燃やしたい人たちを受け入れており、中央地区全体の「とんど祭り」として広がりを見せています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成27年1月18日(日) 午後1時～午後3時(点火は午後1時)</p> <p>場所 二河川公園, 二河川河川敷</p> <p>内容 ・とんど(二河川河川敷)</p> <p>青年団を中心に、ワラや竹などの材料を調達して、とんどの「やぐら」を組む。 その年の干支(今年はひつじ年生まれの人)生まれの人たちによってとんどに点火。 今年も、海外からの留学生や研修生(5か国32名)が参加し、日本の伝統文化を経験しました。(自分たちで書いた書き初めをとんどで燃やしたり、餅焼きや竹筒で暖めた「笹酒」を楽しまれました。)</p> <p>・模擬店(二河川公園) 第8地区民生児童委員協議会が「ぜんざい」を振る舞う。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>・地区社会福祉協議会, まちづくり委員会, 地区民生児童委員協議会, 青年団, 消防団など</p>				
苦勞した点	<p>・とんどの「やぐら」組みや材料の調達など。</p> <p>・特にとんどの「やぐら」組みは、青年団を中心にとんど実施前から多くの時間と人手をかけて組み上げています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>とんど前に集合</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>第8区民児協によるぜんざい</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>勢いよく燃え上がるとんど</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>河川敷でみんなで餅焼き</p> </div> </div>				

番号	20	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	ふれあい広場三条運営事業			事業費	約360,000円 (家賃補助等)
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、空き店舗を借受け平成24年9月に開所。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてボランティアスタッフが当たる手作りの施設です。</p> <p>高齢者には、地域の中で人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用され、放課後は子どもたちが集う、笑い声が絶えない場になっています。日常利用だけでなく季節のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区にしていきたいと思っています。</p> <p>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営にあたっておられます。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・場所 呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗(平成24年9月8日オープン) ・活動時間 毎週月曜日～土曜日(日曜・祝日は休所日)午前10時～午後4時30分 ・面積 (間口)3m×(奥行)12m=約36㎡(約11坪) 家賃 3万円/月 ・利用料金 無料(お茶無料, コーヒー100円, かき氷100円(夏季限定)で提供) 誰でも無料で利用できる無料休憩所 ・運営体制 1日3人のボランティアにより運営(合計18人役/週) ・メンバー 三条まちづくり委員会会員, 各自治会関係者, 民生児童委員, 赤十字奉仕団会員, 運動推進委員, 一般住民など ・利用実績 最近の利用人員 月平均 500人, 一日平均 25人 <ul style="list-style-type: none"> ・平日はお茶や弁当をいただきながらの気まぐれおしゃべり会 ・男性陣は囲碁・将棋のうで試し ・放課後と土曜日は子供の居場所 ・イベント 4月 - お花見会 6月 - 七夕飾りづくり 7月 - 第2回 夏祭り 9月 - オープン2周年記念事業 12月-クリスマス会 2月 - 節分 3月 - 震災を忘れないために11コンサート(毎年開催) その他, 定期的に「うた声広場」, 「らくらく体操教室」, 「手芸教室」を開催 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場三条の会 ・誰でも(特に高齢者)が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名 ・ふれあい広場を開設するに当たり「ふれあい広場三条の会」を設立 ・まちづくり委員会から財政支援(家賃と, 25年度限定で空調・パソコン整備)と人的支援を受けています。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会との協力体制の構築 ・利用者の増加や事業の多様化に伴い, スペースの手狭感が増えています。 ・常駐するボランティアスタッフの確保(後継者の確保) ・自主財源の確保 				
活動状況	 <p>第2回ふれあい広場夏祭り</p>		 <p>クリスマス会</p>		
	 <p>手芸教室</p>		 <p>ふれあい広場2周年記念</p>		

番号	21	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	八畳岩登山(登山道整備, 登山)			事業費	約80,000円 (整備費, 保険等)
事業の目的	<p>地域の裏山にあって、かつて地域の人達が慣れ親しんでいた「八畳岩」への登山道が、人の手が入らないようになってから荒れ果てていました。</p> <p>5年ほど前からまちづくり委員会では、消防団の協力を得て、八畳岩までの登山道を整備し、参加者を募って春に八畳岩までの登山を行っています。</p> <p>みんなで登る八畳岩は、地域のすばらしさの再発見と地域住民の絆づくりに貢献しています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時 平成26年4月12日(土) 午前11時(集合)～午後1時(下山) ・参加者 24名 ・内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・登山道整備事業 毎年、登山前に時間をかけて登山道を整備。(消防団も協力) ・八畳岩登山 八畳岩に登り、みんなで昼食を食べた。(消防団も協力) <p>【集合】両城小学校校庭に集合 → 保険申込(記入) → 準備運動</p> <p>【登山】八畳岩に向けて登山</p> <p>【山頂】八畳岩で記念撮影, 山頂から自分たちの住むまちを眺望</p> <p>【下山】足元に気を付けながら下山</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会内の「階段のまち」部会 ・まちづくり委員会内にまちづくり計画に掲げる各種事業を実施するための部会を設置し、部長を中心に事業を実施しています。 ・八畳岩登山は、地域内の良さ(お宝)を再発見し、それを維持、保存するとともに、広く住民に周知し、自分たちの住む地域に対する愛着を深める事業を展開しています。 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・登山道整備箇所が多く全体の整備には時間がかかっていましたが、年々環境が整い、落葉除去程度で済むようになりました。 ・整備機材や材料の運搬が大変でした。 ・事前整備をしなかったルートで下山し、難儀でした。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>登山道の整備(足元の階段整備)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ハードな道もみんなで楽しく</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>登山道の整備(手元のトラロープ)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>八畳岩で記念撮影</p> </div> </div>				

番号	22	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	「語りべの会」と「今昔写真パネル展示」			事業費	約20,000円 (地域語り部謝金)
事業の目的	<p>両城・三条地区まちづくり計画の5つの方針の一つ「Welcome！歴史再発見階段の町へ」の事業を実施する通称「階段部会」。地域の昔話やお宝の発見と維持保存活動を実施しています。</p> <p>例年、地域の若い世代に地域の歴史や貴重な体験談を引き継ぐため、この地に縁のある高齢者をお招きして「語り部の会」を夏休みに開催しています。</p>				
事業概要	<p>今年の「語り部の会」には、地元両城中学校で英語教諭をされていた「高月先生」をお招きして、当時の中学校生活について、三城通りの賑わいについてなどを、集まった当時の教え子や地域の子供たちに話していただきました。</p> <p>また、地域の方々から提供のあった古い写真については、代表的なものをコピー拡大し、パネルにしました。そこに写り込んでいる場所の現状写真と対比させて展示し、まちの移り変わりを確かめてもらっています。</p> <p>今年も、この今昔写真パネル展を敬老会で展示しました。会場に来られた方に、熱心に見ていただきました。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>「Welcome！歴史再発見階段の町へ」の事業を実施する「階段部会」が中心となって資料を収集し、展示する場合は、まちづくり委員会の会員が総出で手伝っています。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・古い資料の中で三条地区の写真が少ない。 ・まちの様子が変わり、昔の写真が撮影された場所を探すのが大変です。 				
活動状況	 <p>語り部の会</p>		 <p>語り部の会</p>		
	 <p>敬老会で「今昔写真パネル展」を開催</p>		 <p>敬老会で「今昔写真パネル展」を開催</p>		

番号	23	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区盆踊り大会			事業費	約600,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、かつて地域の伝統文化であった「川原石踊り」を平成22年に46年ぶりに復活させ、その伝統文化を引き継ごうと盆踊り大会で踊り継ぐ取組をおこなっている。</p> <p>また、地域の「面識社会」実現の手法として、うちわによる抽選会や民生委員・消防団等の地域団体がかつての夜店を演出し、かき氷やポップコーン、スーパーボールすくいを企画・実行し、一人でも多くの地域住民の絆づくりを図るよう工夫を凝らしている。</p> <p>こうして各世代・各団体が役割分担をして準備・実施・後片付けを行う事で地域全体の絆づくりと地域伝統文化継承に取り組んでいる。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成26年8月14日(木) 午後6時～ ・場所 川原石マリンパーク ・内容 盆踊り(川原石音頭, 呉踊り, 炭坑節) うちわくじを使ったお楽しみ大抽選会 かき氷・ポップコーン・風船つり・スーパーボールすくいなどの夜店の開店。 消防団による防災ビデオの上映 ・参加者数 地域住民約700名参加(あいにくの雨の中多くの住民が参加しました。) 				
この事業を企画・実施した人	<p>・川原石地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「住民の絆づくり」・「世代間交流」と「地域文化の継承」を目指し、まちづくり委員会を中心に川原石地区各団体が参加・実施し、オール川原石で取り組む大イベントに成長した。</p>				
苦勞した点	<p>・地域に「川原石踊り」を踊れる人が、年々高齢化し少なくなるなか、日赤川原石分団を中心に習得し、現在はその人たちが先生となって7・8月の毎土曜日に伝承会を開催している。また、同時に太鼓の練習や継承も行っているが、踊りも太鼓のリズムも独特で習得が一朝一夕にはいかず、繰り返しの練習が必要である。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>檣の準備</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>川原石踊り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ボランティアによる夜店</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>雨の中多くの住民が集まりました</p> </div> </div>				



番号	24	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	まちづくりパートナー協定締結と防災訓練			事業費	約200,000円
事業の目的	<p>川原石地区は海岸に近く、急傾斜地が多い地域であり、津波災害や土砂災害等に関する住民の防災意識の高揚や災害に強いまちづくりを推進するため、毎年防災訓練を実施しています。</p> <p>今年は、広島土砂災害を教訓にして、地区住民の安全・安心の確保、地域防災力の向上を図ることを目的に訓練に取り組みました。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成26年11月23日(日) 午前9時30分～ ・場所 二川まちづくりセンター2階ホール及び川原石マリンパーク ・内容 (1) 広島土砂災害を受けて(呉市からの災害応援隊による報告説明) (2) 防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> ①心肺蘇生法(心臓マッサージ実技訓練) ②煙中体験(二川まちづくりセンターの会議室で実施。室内に煙が充満し、視界が20～30cm程度と非常に暗い中で体験してもらいました。このような体験を重ねていけば、まさかの時にいち早い避難が可能となるものと考えています。) ③水消火器による初期消火訓練 ・参加者数 地域住民約200人が参加 ・まちづくりパートナー協定 まちづくり委員会では、平成25年に住民の絆づくりと安全・安心な地域を目指して、地元スーパー藤三と地域のまちづくりと災害時の協力と支援のための協定を締結しました。 				
この事業を企画・実施した人	川原石地区まちづくり委員会と川原石地区自主防災会が中心となり、消防局危機管理室、西消防署及び消防団湾岸分団の指導により実施しました。				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の災害に即した防災の理論と実践を学ぶ訓練にするため、どのような内容にするかを綿密に話し合ったこと。 ・参加者に「いざというとき正しく素早い行動で命を守り、周囲の人と協力してどのように災害を未然に防ぐか」を自分の身近な課題として、分かりやすく伝えられるような訓練にすること。 				
活動状況	 <p>広島土砂災害応援隊による報告</p>		 <p>水消火器による初期消火訓練</p>		
	 <p>煙中体験</p>		 <p>心肺蘇生法</p>		



番号	25	団体名	中央西(第8地区, 三条地区, 川原石地区)連携事業実行委員会	代表者	中田 清和
事業名	第8地区, 三条地区, 川原石地区合同町民運動会等連携事業			事業費	約320,000円
事業の目的	中央西地区を区域とする第8地区, 三条地区, 川原石地区の地域住民が互いに連携・協働して合同町民運動会等各種事業を行い, いつまでも健康で住みやすい地域環境の構築を目指すとともに, 地域間の連携や交流を促進し, 広範囲でのまちづくりに関する取り組みに繋がっていくことを目的とする。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成26年9月21日(日) 午前8時30分～ ・場所 川原石マリパーク 二河川以西の中央地域に位置し, 地域住民の生活文化圏も重なっている3地区が連携して合同町民運動会を開催することにより, 合同開催のスケールメリットを活かすとともに, 住民同士の絆を深めることができた。 また, 子どもから大人まで楽しめる競技種目を実施したことにより, 3地区内の幼稚園児や小・中学生から高齢者まで幅広い世代間交流にも繋がった。 参加者約1,300人 さらに, グランドゴルフ大会(平成26年11月29日:120人参加), 合同ウォーキング大会(平成26年11月30日:145人参加)も開催し, 隣接する3地区の住民相互の親睦と絆を深めることができた。 				
この事業を企画・実施した人	中央西(第8地区, 三条地区, 川原石地区)連携事業実行委員 第8地区自治会連合会, 三条地区自治会連合会, 川原石地区自治会連合会 呉市中央西体育協会 第8区・第9・10区民生員児童員協議会 第8区東老人クラブ連合会 三条地区・川原石地区日本赤十字奉仕団・山手女性会 第8地区・両城三条地区・川原石地区健康づくりのための運動普及推進協議会				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者も青年が少なくなり高齢化している。 ・前日のテント張りや当日の準備に多くの人が集まりにくく時間がかかった。また, 役員も高齢者が多くなり力仕事には苦慮しているが, 役割を分担し助け合うことで実施できた。 				
活動状況	 <p>合同運動会 開会式</p>		 <p>合同運動会 未就学児童かけっこ</p>		
	 <p>合同運動会 小学生玉入れ</p>		 <p>合同ウォーキング大会</p>		

番号	26	団体名	中央地域成人式実行委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	中央地域成人式			事業費	978,000円
事業の目的	今年で6年目となる中央地域の成人式。新成人が生まれ育った地域の方々(祝う人)と新成人(祝われる人)の「顔と顔の見える」・「より心の通った」ものに移行・発展させていくため、本庁管内は9つの自治会連合会と海上自衛隊呉海曹会が合同で実行委員会を立ち上げ、地域協働課や教育委員会の行政も一緒になって協働という形をとりながら開催しています。				
事業概要	<p>日時 平成27年1月12日(祝) 午前11時～午後1時</p> <p>場所 呉市体育館(体育館前の駐車場も含む。)</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典(新成人4名によるはたちの誓い, 新成人による司会進行) ・新成人によるはたちの大抽選会(成人リーダー企画) ・はたちの同窓会(なつかしい友達や恩師を囲んでの同窓会) ・記念撮影スポット ・はたちの誓いメッセージボード(成人リーダー企画) ・地域の贈りもの(各地区からの食べ物などのおもてなし) ・各地区からのボランティア(受付, 模擬店の出店) ・着付け教室による「着付け110番」ボランティア(5名参加) ・市立呉高等学校生徒によるボランティア(地域ブース・全体運営補助 32名) ・市職員によるボランティア(地域ブース・全体運営補助 新入職員を含む 24名) <p>※新成人出席者 334名(対象者の67.7%)</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・中央地域成人式実行委員会 中央地域の9つの自治会連合会, 海上自衛隊呉海曹会, 呉市, 呉市教育委員会 				
苦労した点	新成人代表を企画段階からスタッフに加え、式典での役割や式典後のイベント内容について、何度も会議を開催したが、バイト等で多忙なため全員が出席することが少なく、無事に終わるのか最後まで不安だった。				
活動状況	 <p>式典(主催者挨拶)</p>		 <p>新成人受付</p>		
	 <p>はたちの大抽選会</p>		 <p>地域ブース(餅つき)</p>		

番号	27	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	薄井七郎
事業名	第24回 詩歌創作大会			事業費	約110千円
事業の目的	郷土に伝わる古歌「よし浦のさと」(藤原為時(紫式部の父)が詠んだ歌)の碑が町民グラウンド公園内に建設されています。これを地区の文化財として大切に守り伝えるとともに、小・中学生による詩歌創作大会を歌碑周辺において開催し、青少年・児童の情操教育並びに、文化の向上を目標としています。				
事業概要	<p>1 事業内容 詩歌創作とお茶席(抹茶)体験 実施年月日:平成26年5月11日(土)</p> <p>(1)児童及び生徒による短歌づくり 吉浦の自然にふれ、感じたままを5, 7, 5, 7, 7の言葉で表現する。 →後日、審査員会にて優秀作を選び、表彰する。</p> <p>(2)お茶席 お茶の先生の指導のもと、お茶席を体験。抹茶と饅頭で楽しく過ごす。</p> <p>2 参加者数 吉浦小, 落走小, 吉浦中の児童及び生徒約100名 保護者, 運営スタッフ等 約120名 合計 約220名</p>				
この事業を企画・実施した人	詩歌創作大会実行委員会(吉浦地区の民児協ほか7団体で構成)				
苦勞した点	<p>(1)雨天時は、まちづくりセンターに会場を変更し、実施する予定にしていますが、毎年天気状況に気を使います。</p> <p>(2)小学校では高学年で短歌を学習することもあり、低学年にとって創作は難しいことかもしれないが、子供らしく、見たまま、感じたままを素直に表現するように、また、中学生には「吉浦」という言葉ではなく、「吉浦」とわかる言葉や語句等での表現に努めるよう指導している。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <h2 style="text-align: center;">古歌「よし浦のさと」</h2> <p style="text-align: center;">藤原為時 作</p> <p style="text-align: center;">「かくまでに、思はざりしに、来てみれば いと住みやすき、よし浦のさと」</p> <p>* 吉浦の吉は、豊臣秀吉が名付けたとのいわれがあります。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center; font-weight: bold;">開会式</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center; font-weight: bold;">お茶席</p> </div> </div>				

番号	28	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	薄井 七郎
事業名	第9回 吉浦地区防災訓練			事業費	約100千円
事業の目的	吉浦地区全体で防災活動の機運を高め、楽しみながら消火活動や避難の模擬体験をし、さらなる地域の防災意識の高揚を図ることを目的として、平成18年度から継続して訓練を実施しております。				
事業概要	<p>日時 平成26年10月19日(日) 午前10時～12時 ※準備は午前7時30分～</p> <p>場所 吉浦小学校</p> <p>内容 (1) 第1部(避難・誘導訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所(吉浦各地区から吉浦小学校へ徒歩での避難開始)《地区住民約200名》(吉浦小学校へ避難者を誘導)《自治会長, 民生・児童委員》 <p>(2) 第2部(実地訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 初期消火訓練(消火器による消火訓練, 天ぷら油火災実験) イ 吸水性土のう訓練(土を使わない土のうの配備訓練) ウ 応急救護訓練(重傷者への応急処置, AED使用方法の講習) エ 防災講話 <p>(3) 第3部(給食・給水訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉浦女性会による炊き出し(むすび, みそ汁等) ・民生・児童委員による災害備蓄食品(乾パン)の配布, 試食 				
この事業を企画・実施した人	平成18年度に、吉浦地区自治会連合会が消防庁の安心安全ステーション整備事業のモデル地区に選ばれ、これを機に吉浦地区全体で防災活動の機運を高めていくために、西消防署や地元消防団の御指導をいただきながら、吉浦女性会、民生・児童委員協議会をはじめとする各種団体の協力のもと事業を始めました。				
苦勞した点	炊き出しのための機器の運搬や火起こしに時間と手間がかかります。迅速性を高めるための工夫(カセットコンロの導入など)を検討しています。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>各地域からの避難終了</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>消火器による初期消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>吸水性土のう訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>炊き出し訓練(味噌汁配布)</p> </div> </div>				

番号	29	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	薄井 七郎
事業名	よし浦まちづくり発見隊 フィールドワークin三原			事業費	約100千円
事業の目的	吉浦町においては、絆づくりは人づくりと考え、人材の育成研修をまちづくりの重要推進テーマと考えています。そのため、この事業を、「よし浦まちづくり発見隊」と名付け、25年度から取り組みを行っているものです。その目的は、ふるさとよし浦区れの良さの再発見及びくれ市外の優れたまちづくりの良いところを自ら実地に調査研究することにより、吉浦まちづくり委員会の委員等において、今後の地域力向上「発展に繋がる人材発見」育成の推進を図る(よし浦まちづくり発見隊事業実施要綱第1条)ものです。				
事業概要	<p>まちづくり委員会で、三原市へ視察研修に行きました。</p> <p>日時 平成27年1月30日(木) 10時30分～</p> <p>場所 三原市中央公民館ほか</p> <p>内容 参加人員 計22名(委員12名, 委員外町内在住者10名)</p> <p>学んだ点 「みはらし環境会議」の取り組みについて →市民協働で取り組む「環境」をテーマとした地域づくり</p>				
この事業を企画・実施した人	吉浦まちづくり委員会(協力:三原市生活環境課)				
苦勞した点	まちづくりの取り組みを担う人材育成や後継者づくりは非常に重要なテーマではありますが、このたび地元在住の市職員が一町民としてこの研修に参加してくれたのは大変心強いものです。				
活動状況	<p>研修の様子(三原市中央公民館内) 説明講師:三原市生活環境課長ほか</p>   <p>三原の地域の情報ステーション 道の駅 「みはらし神明の里」</p>				

番号	30	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	下中 幸司
事業名	第18回 警固屋さくら祭			事業費	515,807円
事業の目的	警固屋地区における地域まちづくりのシンボリックイベントとして、地元住民を中心とした自立的な運営を進め、地域住民のまちづくりへの参画及び地域内外の交流の促進を図る目的で実施しております。				
事業概要	<p>日時:平成26年4月6日(日) 10:00 ~ 14:00 場所:警固屋まちづくりセンター駐車場 内容:①イベントの部 【ステージ】 出演団体:日新製鋼シルバーサウンズ, 警固屋みらい保育所, 消防団はしご隊, ジャザサイズ, 鍋保育所, 警固屋小学校, 鍋ひよっこ踊り同好会, 県民踊・渦潮会, レイフラワーオハナ警固屋, 鍋よっしゃこい踊同好会 【子ども関連】 さくら茶屋(警固屋中学校生徒による野点) ②売店の部 地元団体など計12の飲食ブース及び物販ブースを出店 ③フリーマーケットの部 計18のマーケット出店 ④コーナーの部 餅つき(消防団), マツダ車展示(呉郷心会), 健康管理(警固屋地区運推), 花の苗無料配布</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会内に設置されている企画部会(部会員14名, オブザーバー1名)が、イベントの企画立案から実施までを担当。この他にも、自治会や女性会, 民生委員協議会など地元団体のメンバーが協働し設営から運営, 撤去までを行いイベントを盛り上げました。				
苦労した点	天気・桜良好で始まったさくら祭でしたが、残念ながら開始間もなく通り雨に見舞われてしまいました。しかし、皆様の迅速なご協力のもと、雨をしのぎ、なんとか最後まで屋外で実施することができました。毎年、天候の変わりやすい季節の開催となるので、次回以降は対策にもっと力を入れていきたいと考えています。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>消防団はしご隊演技</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>開会式の様子 ステージには日新製鋼シルバーサウンズ</p> </div> </div>				

番号	31	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	下中 幸司
事業名	子ども避難体験事業			事業費	150,911円
事業の目的	【火起こし体験や避難場所での宿泊などを通じた防災訓練の推進と地元住民の連携促進】 夏休みに火起こし体験や避難所での宿泊体験を行うことで、災害時の対応方法を学ぶとともに、レクリエーション等を通じて地域住民との親睦を深めることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日時:平成26年7月26日(土) 14:00 ~ 翌27日(日) 8:30 場所:警固屋まちづくりセンター(ホール)・体育館 など 参加者数:40人(小中学生27人・保護者13人)</p> <p>内容 ○身体・体力測定 ※10m歩行, 開眼片足立ち等 【協力:運推協】 ○火起こし体験 ※体育館前で舞hiri式火起こし体験 ○避難所設営 ※体育館にダンボール等で休息・就寝スペースを設営 夕食 ○レクリエーションゲーム【協力:林前警小校長】 ○自由時間 (泊まり) ○健康づくり朝会「健康くれ体操」【協力:運推協】 ダンス【ジャザサイズ】 朝食 清掃</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会の構成団体である警固屋小学校PTAが主体となって企画立案し,当日は警固屋地区運推協及びジャザサイズさんの協力をいただいて実施しました。				
苦労した点	警固屋小学校PTAの方が積極的に動いて運営してくれたため,終始PTA主導で事業を進めることができました。 大きな苦労はありませんでしたが,今回は火起こし体験をしたところ,時間がたつに連れて,興味を持ち始め,あっという間に時間がすぎ,皆楽しんでました。参加者数が思ったより伸びなかった点が今後の検討課題と思われます。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>火起こし体験</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ダンボール使用した避難所設営</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>レクリエーションゲーム</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>健康づくり朝会</p> </div> </div>				

番号	32	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	下中 幸司
事業名	自主防災再編・訓練事業			事業費	66,735円
事業の目的	<p>地元住民を対象とした地震時の避難方法や各自治会へ緊急連絡及び一時避難場所・避難時備品再確認と自主防災会の規約等の再確認や災害時や訓練に備えた災害用備品(物資)の補充を行なった。</p>				
事業概要	<p>日時:平成26年11月20日(木) 12時:30分 ~ 14時:15分 想定:12時20分、震度4以上の地震が発生、県沿岸部に津波警報が発表されたと想定し避難訓練をした。(②警固屋4丁目公園, 416区集会所は時間の想定をすべて30分遅らせ実施した。) 避難場所 ①いそがめ公園 鍋山団地・1区・2区・3区・6区 (13時30分までに集合) ②警固屋4丁目公園 4区・5区・7区・8区・9区・10区 (14時までに集合) ③北側公園広場(夕音下) 11区・12区・13区・14区(見晴1,2丁目) ※北側公園広場への避難訓練は、警固屋学園のグラウンド集合後は学園が作成した実施計画に従い訓練参加 ④16区集会所 14区(見晴3丁目)・16区(14時までに集合) 参加者数:138名(各自治会から2~3名及び事務局から3名参加) 避難場所での消防署による講話(警固屋4丁目公園, 16区集会所は14時までに集合) 現地解散:(警固屋4丁目公園, 16区集会所は14時15分散)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会理事役員の方が企画し、この他にも、自治会などに協力していただきました。</p>				
苦労した点	<p>初めての避難訓練でしたので、どの程度の参加協力が得られるか不安でしたが、多くの人が参加してくれて有意義な訓練になりました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">  <div style="text-align: right;"> <p>左上 避難集合</p> <p>右上 避難状況</p> <p>左下 消防署講話</p> </div> </div>				

番号	33	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	まちづくり若者提案事業			事業費	450千円
事業の目的	<p>阿賀のまちづくりに関心を持っている若い人たちを募集し、若者の発想により提案されたまちづくり事業を実施する。</p> <p>このことにより、地域づくり・まちづくりに関心を持つ若者の発掘と波及効果により若い世代の人たちにまちづくりに興味・関心を持ってもらう。</p>				
事業概要	<p>メンバー募集(随時), 会議の開催(平均月2回程度) 現在, メンバーは呉高専の学生を中心に社会人を含め12名</p> <p>メンバーにより, 自由な発想で阿賀を元気にする事業を話し合い, 事業を企画・提案し, 承認を受けたうえで実施, 報告会を開催する。</p> <p>26年度夏には情島自然学校Ⅱを開催。若者たちだけではなく様々な知識や経験を持った年配の地域ボランティアの協力を得て実施できた。</p>				
この事業を企画・実施した	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	仕事や学業などそれぞれの事情があり17時からの会議に全員がそろうことは難しかった。				
活動状況	<p>阿賀のまちづくりを考える若い人たちによる「若者提案事業」を24年度から実施している。毎月1～3回17時から集まり楽しみながらまちづくりの会議を開いている。</p> <p>24年度はイベントとして「1日限りの阿賀学校」を開催, 25年度は「情島自然学校」を開催しました。</p> <p>26年度は「情島自然学校Ⅱ」を開催し, 子ども達に情島を知ってもらう機会となった。</p> <p>主催した「若者グループ」からは「とてもやりがいがあり楽しかった。これからも色々なまちづくり事業に関わっていきたい。」という感想があった。</p> <p>また, 「阿賀のお宝マップ」を26年度中に作成予定で, 来年度以降も「若者提案」によるまちづくり事業を実施する予定にしている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竹の箸づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竹のお椀づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おむすびづくり</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">写真立てづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">そうめん流し</div> </div>				

番号	34	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	阿賀まち銘板事業			事業費	180千円
事業の目的	<p>阿賀まちづくり推進協議会では阿賀の旧町名にまつわる歴史や伝統などを遺していくため、「まちしるべ」石柱設置事業を実施した。</p> <p>阿賀には、地名のほかにも隠れた歴史的な名所・旧蹟がありますが、その場所や由来を示す標識などはほとんど設置されていない。</p> <p>そこで、由来や伝承などを書いた銘板を設置し、地元の歴史的資源を知ってもらうとともに、郷土への関心を高めていこうとするもの。</p>				
事業概要	<p>アクリル板で銘板を作成し、地域に銘板を設置していく。</p> <p>○場所の選定、文章の作成:阿賀歴史文化研究会 ○デザイン:呉工業高等専門学校 ○銘板作成:呉工業高等専門学校(アクリル板をレーザー加工) ○設置:阿賀歴史文化研究会、地元の自治会・住民のみなさん</p> <p>現在、銘板の設置場所の候補として80カ所を選定しており、うち約30カ所について銘板へ記載する文章を具体的に検討している。 26年度は7カ所設置、27年度に10カ所程度設置予定としている。</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	内容や設置場所について阿賀歴史文化研究会のメンバーで何度も話し合いを重ね、設置にあたっては地元自治会の人たちと一緒に設置した。				
活動状況					



番号	35	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	今昔子どもふれあい大会			事業費	580千円
事業の目的	<p>阿賀のみんなが集い参加して盛り上がっていただける町民の祭りを開催するもの。 阿賀地区では昭和40年頃から女性会・老連・子ども会が合同で「今昔子ども創作大会」を開催してきた。平成23年度から、この大会を阿賀町全体の祭りにするため、阿賀まちづくり推進協議会の主催とし阿賀の地域団体全てが参加して「今昔子どもふれあい大会」として開催している。</p>				
事業概要	<p>今の子どもと昔の子どもが集い体験交流を深める事業として『今昔子どもふれあい大会』を実施。 阿賀まちづくり推進協議会の各団体、アガデミア参加学校、地元企業の協力によりイベントや屋台、ステージアトラクションなどを実施した。</p> <p>【内容】</p> <p>○イベント プラバンづくり、マスコットづくり、書道体験、お茶いっふく、アートバルーン、紙ひこうき、豆つかみ競争、紙ずもう、竹細工、折り紙、飲酒運転体験メガネ、交通安全グッズ配布ほか</p> <p>○屋台 焼きそば、うどん、お好み焼き、綿菓子、ポップコーン、中華おこわ、カレーライス、くじびき、ジュースほか</p> <p>○ステージ 吹奏楽演奏(市立呉高等学校)、バンド演奏(広島文化学園大学ほか)、よさこいソーラン(阿賀中学校・YAMATOくれびと)</p>				
この事業を企画・実施した	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	参加団体が多いため、事前の連絡調整の徹底が必要であった。				
活動状況					

番号	36	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第41回 広子ども祭			事業費	1,212千円
事業の目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って、地域の大人と子どもが一体となって開催する伝統行事。				
事業概要	<p>【日時】 平成26年5月11日（日）11:00～16:00</p> <p>【場所】 広公園, 白岳小学校</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①交通安全おみこしパレード（広商店街～広公園） ②広公園会場／夢風船, けん玉, お手玉, だるま落とし, 竹馬乗り, 輪投げ, ゲートボール, ボウリング, モンキーブリッジ, 長なわとび大会, 大声コンテスト, 靴飛ばし, 折り紙, くれ市民協働センターPRコーナー ③白岳小学校会場／消防車両展示, はしご車の搭乗体験, 記念撮影コーナー, リサイクル・エコロジー学習コーナー, 手形コーナー 				
この事業を企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会</p> <p>共催：広地区社会福祉協議会, 呉市赤十字奉仕団広分団</p> <p>主管：広子ども祭実行委員会, 広子ども会連合会</p> <p>※その他, 協力・協賛団体あり</p>				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>交通安全パレード</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>夢風船</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>手作りおみこし</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>長なわとび大会</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>消防車両記念撮影</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: right;"> <p>来場者数 約2,500人</p> </div> </div>				

番号	37	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第66回 広地区教育祭			事業費	2,775千円
事業の目的	<p>広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、住民の文化・芸術・スポーツなどの活動を盛んにすることを目的として昭和23年から毎年開催している。</p>				
事業概要	<p>11月のおよそ1か月間、児童・生徒作品展、各団体文芸活動の展示・舞台発表、文化講演会、教育功労者表彰などを開催。また、関連事業として、広地区音楽祭、大書揮毫、広地区合唱祭、教育第一の精神を次世代に伝えていくための歴史講演会「愛ひろ心」といった特色ある文化行事を開催している。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会 共催：広地区社会福祉協議会、赤十字奉仕団広分団 主管：広地区教育祭実行委員会ほか ※イベントごとに実行委員会を設立 後援：呉市、呉市教育委員会 ※その他、協力・協賛団体あり</p>				
苦労した点	<p>関係団体との連絡調整、参加者(団体)の事前準備</p>				
活動状況	<p>期間中の延来場者数 約18,000人</p> <p>■第4回広地区音楽祭 11/3（祝・月） 広地区にある各中学・高校・大学の吹奏楽部と社会人バンドが一堂に会するまちおこしイベント。地域の一体感の創出と、技術のレベルアップに、定着したイベントとなっている。</p>  <p>■教育功労者表彰式・文化講演会 11/23（祝・日） 広地区の文化・スポーツ活動に貢献した人物（団体）を表彰する式典と、俳優の滝田栄さんを講師に迎えて文化講演会を開催。400名を超える来場者があった。</p>  <p>■歴史講演会「愛ひろ心」 11/23（祝・日） 広まちづくり推進協議会の構成組織「ともに学ぼう広のまち委員会」による講演会。古谷健さん（昭和西小教諭）を講師に、「教育第一」の由来と広町の歴史をテーマに開催。300名を超える来場者があった。</p>  <p>■第3回広地区合唱祭 11/24（休・月） 平成24年度に呉市制110周年の記念イベントとして開始して以来、広地区のコラスグループの交流、夢や希望を与えるイベントとして、文化の向上に寄与している。</p> 				

番号	38	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第11回 広地区クリーン活動			事業費	90千円
事業の目的	クリーン活動を通して社会の一員であることの自覚，地域社会について理解を深める。住民相互が協力し，助け合う気持ちを培う。社会奉仕・社会貢献の精神を養う。				
事業概要	<p>【日時】 平成26年12月3日（水）13：00～16：00</p> <p>【場所】 小学校，中学校（集合場所及び解散場所）</p> <p>【内容】 学校区ごとに集合し，区域内を清掃する。参加者には生徒をはじめ地元市民団体も参加。小学校・中学校の児童・生徒と地域の方々が一緒に清掃活動に取り組むことで，学校区域内の明るい環境を整備するとともに，地域に住む者同士がお互いを知ることで登下校の児童・生徒にとっても安心で安全なまちづくりにつなげている。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>広まちづくり推進協議会・広地区小中学校（合同事業）</p> <p>協力：地区自治会等（合同清掃），広警察署の見回り（安全パトロール），環境業務課（ゴミ収集）</p>				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況					

番号	39	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方地区自主防災会合同訓練			事業費	約140,000円
事業の目的	仁方地区の地域防災避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、一人ひとりが安全・確実に避難するための避難通路、避難場所、一時避難場所などを確認しながら、防災意識の高揚を図ることを目的とし、11自治会が連携し仁方地区自主防災会合同訓練を実施しました。				
事業概要	<p>日時 平成26年5月31日(土) 9時30分～11時30分 場所 仁方小学校「命かがやく広場」</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各地区訓練場所の区域内に配置した消防団車両及び消防団により「津波、地震、避難指示の発令」の広報を実施 ②自治会・自主防災会組織、消防局・消防団が連携協力して、避難の呼びかけや避難誘導を行いながら、各指定場所に集合し、仁方小学校に避難 ③2班に分かれての応急訓練・要救助者救出訓練(いずれも消防局・消防団の解説と訓練指導により実施) ④防災講話(消防局) ⑤はしご車による避難訓練 				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会と同地区自主防災会が中心となり企画しました。				
苦労した点	災害時における各地区の実情に即した訓練内容の検討				
活動状況	 <p style="text-align: center;">防災講話</p>   <p style="text-align: center;">はしご車による避難訓練</p>				

番号	40	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	「春が楽しみ！チューリップ」事業			事業費	約420,000円
事業の目的	チューリップを育てて、まちに彩りと潤いを与え、人と人がつながることによって、魅力ある「仁方のまちづくり」を推進するものです。				
事業概要	<p>日 時 平成26年11月8日(土) 午前9時30分～12時00分 場 所 仁方運動広場 参加者 約60人 内 容 参加者全員でプランター(まち協のシールを貼ったもの)と土とチューリップの球根(5色)を統一した配色でセットした。 プランターは、小・中学校校、保育所、自治会館など公共・公共的施設に配付し、人が集まり多くの人から見える場所で育てていただく。(卒業・入学式前後に仁方の各箇所にてチューリップが開花する。)</p> <p>球根数 5600個(花壇等の直植えを含む) プランター個数 540個 配付箇所 27箇所</p>				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会				
苦労した点	どのプランターも同じ配色で咲かせたいため、植え方の位置(1プランターに8個の球根)を統一することに苦労した。				
活動状況	 <p>実行委員長挨拶</p>		 <p>作業説明</p>		
	 <p>各自治会準備</p>		 <p>植え込み作業</p>		

番号	41	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	「仁方歴史マップ」作成			事業費	約300,000円
事業の目的	まちづくり推進協議会のスローガン「仁方のことをもっと知り、もっと好きになり、より良い仁方の町にするために」の一環として、「仁方歴史マップ」を作成しました。 マップを手に取り、仁方の名勝・史跡を見て回り、仁方の歴史を知り、教育・文化・ものづくりを始め、すばらしい仁方の魅力を再認識していただき、「まちづくり」に役立てるものです。				
事業概要	平成25年5月まちづくり推進協議会において、「仁方町の歴史マップ(仮称)」を作成することを決定し、作成委員を募集。 平成25年7月1日マップ作成委員会(メンバー3人)立ち上げ以降、平成26年5月13日まで合計15回の打合せ会議を実施(件名の選定、マップの仕様、記事の内容、写真等の内容を検討) マップ概要 仕様 両観音折り8頁 印刷部数 5000部 配布箇所 仁方町全世帯 仁方中学校、仁方小学校				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会				
苦労した点	限られた紙面の中で、掲載したい「名勝・史跡」の箇所、「教育・文化・ものづくり」の件名を選定・調整することに時間がかかり苦労しました。				

16 藤原家跡
15 和原五郎義興の墓
14 和原五郎義興の墓
13 和原五郎義興の墓
12 和原五郎義興の墓
11 和原五郎義興の墓
10 和原五郎義興の墓
9 和原五郎義興の墓
8 和原五郎義興の墓
7 和原五郎義興の墓
6 和原五郎義興の墓
5 和原五郎義興の墓
4 和原五郎義興の墓
3 和原五郎義興の墓
2 和原五郎義興の墓
1 和原五郎義興の墓

私たちの故郷「仁方」の誇り

<仁方の地名の由来と誇り> 昔は新御所、新田村といひ、1323(大永3)年仁方と改称され、後に仁方と改称。加田村となり、1624(寛永2)年頃から今の「仁方」村と改称されました。1977(昭和52)年「仁方町」となりました。

仁方は、東部の三方山に囲まれ、南は瀬戸内の海が開けており、雨量は少なからず気候は温暖で、農業に力を入れています。仁方に住む人は、賢くて礼儀が厳格で「ものづくり」に誇りを持ち、風・ヤスリ・醤油醸造などに誇りを抱いています。気候風土に多くの特産品を生み出し、江戸時代の文化圏で栄えていたことが分かります。そして江戸から多岐にわたる物資が運ばれて、仁方の町は栄えました。明治初年には支那大商社が設立され、後援からの影響が強く見られます。これらは現在の仁方の町に誇りと引き継がれています。「仁方のみかん」もまた「仁方の誇り」の名産品として知られており、仁方のことをもっと知り、仁方のことをもっと好きになり、より良い仁方の町にするために、まちづくりを進めてまいります。

仁方町まちづくり推進協議会

(仁方のものづくりと文化財)

そのほかにヤスリ産業は、常に80%以上の圧倒的なシェアを誇り、県内最大の産地となりました。これは産業革命以前の時代から続いていますが、今でも仁方ヤスリは国内生産量の約4割を占めています。また、仁方産の醤油は、醸造の工程を凝らしており、ヤスリと同様に高品質の醤油を造っており、県産品としては、130年を超えています。

醤油と醤油

醤油は仁方の重要な産業であり、仁方の誇りとなっています。仁方の醤油は、醸造の工程を凝らしており、高品質の醤油を造っています。

和原五郎義興の墓

和原五郎義興の墓は、仁方の重要な文化財です。和原五郎義興は、仁方の名士であり、仁方の歴史を語る上で欠かせない人物です。

八海兼神社のクスノキ

八海兼神社のクスノキは、仁方の重要な文化財です。このクスノキは、仁方の歴史を語る上で欠かせない文化財です。

ワカメガシの群衆

ワカメガシの群衆は、仁方の重要な文化財です。この群衆は、仁方の歴史を語る上で欠かせない文化財です。

三刀家史料(農業史料)

三刀家史料(農業史料)は、仁方の重要な文化財です。この史料は、仁方の歴史を語る上で欠かせない文化財です。





ぼら鍋

ぼら鍋は、仁方の重要な文化財です。このぼら鍋は、仁方の歴史を語る上で欠かせない文化財です。

稲荷神社

稲荷神社は、仁方の重要な文化財です。この稲荷神社は、仁方の歴史を語る上で欠かせない文化財です。





番号	42	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	松本 忠
事業名	「宮原ホタルの里」			事業費	
事業の目的	<p>この事業は、神原川のきれいな水を利用し、神原公園の一部と隣接する森と湿地をホタルの育成地として整備し、お年寄りから子どもまで身近なところでホタルを見ることができるようにする。</p> <p>また、この地で育ち易いアジサイを植栽し、宮原地区の花として、アジサイいっぱいの地区にする。</p>				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園に隣接する湿地(約600㎡)の整備や神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造やあじさいの植樹を行ってきました。</p> <p>多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、平成25年3月末に「宮原ホタルの里」は完成しました。</p> <p>平成26年 6月14日 ホタルまつり 7月30日 あじさいのせん定 10月28日 清掃</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会にホタル幹事会を設け、室瀬町在住のホタル愛好家等の御指導を頂いて事業を進めています。</p> <p>また、整備工事に当たっては、自治会連合会、女性連合会、地元企業などの団体に協力していただきました。引き続き地元の住民で管理運営を行っていきます。</p>				
苦勞した点	<p>平成26年は、これまで継続的に行われていたホタルとメダカの放流会を改め、宮原ホタルまつりとして実施しました。宮原小学校、坪内小学校、宮原中学校の各PTAや女性会などの協力で、出店や屋台を実施。広報活動を広げ過ぎたため、予想をはるかに超えた人出となりパニック寸前になり大変でした。</p>				
活動状況	 <p>ホタルまつり1</p>		 <p>ホタルまつり2</p>		
	 <p>あじさいせん定作業</p>		 <p>清掃作業</p>		



番号	43	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	松本 忠
事業名	宮原地区合同防災訓練			事業費	
事業の目的	宮原地区の全自治会に自主防災組織が発足したことを記念し、合同で全体訓練をすることにより、さらなる地域の防災意識の高揚を図ることを目的とするものです。				
事業概要	<p>3回目の宮原地区合同の防災訓練で、宮原中学校が耐震工事のためグラウンドが使用できないため宮原小学校での開催となりました。</p> <p>日時：平成26年9月27日(土)8:50～12:15 場所：宮原小学校運動場</p> <p>内容： 第1部(避難訓練) 第2部(実施訓練) ・初期消火訓練(訓練用消火器による消火) ・救助訓練(簡易担架作成) ・応急救護訓練(重傷者への応急処置, 心肺蘇生法) ・煙中訓練 第3部(給食・給水訓練) 女性会による炊き出し訓練</p>				
この事業を企画・実施した人	宮原自治会連合会 宮原地区各自主防災会 第1区民生委員児童委員協議会 宮原女性連合会		宮原地区老人クラブ連合会 宮原体育協会 呉市消防局(西消防署) 呉市消防団 大和分団, 本通分団		
苦勞した点	新たな取り組みとして、発電機の使い方や薪での湯沸かしを実施しました。避難経路の点検や要支援者の避難の方法など、より実践に近い訓練をしていく必要が感じられました				
活動状況	 <p>発電機の講習</p>		 <p>救護訓練</p>		
	 <p>救急救護訓練</p>		 <p>炊き出し訓練</p>		

番号	44	団体名	天応地区社会福祉協議会 天応まちづくり委員会	代表者	茶林 正 友井 輝道
事業名	「笹酒まつり」と「もちつき大会」			事業費	450,000円
事業の目的	<p>笹酒まつりともちつき大会は、昭和54年からはじまった天応を代表する恒例行事です。青竹に含まれているクロロフィルは、制ガン効果があるといわれており、天応町民と来場される皆さんに笹酒を飲んでもらい、この一年の無病息災を祈るとともに、新成人の成長を祝い、今後の活躍を祈念することを目的として開催しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成27年1月12日(祝)午前10時30分～午後1時 ※成人式は午前10時～午前10時30分 場所 呉ポートピアパーク イベント広場, 外 内容 神事(来賓, 主催者及び新成人代表者による玉串奉奠等) 式典(挨拶) ソーラン踊り 振舞酒 もちつき, ぜんざい配膳 懇親会(卒業時の恩師, 来賓, 地域の方々) ※お酒を青竹で温めて, 晴れ着姿の新成人が来場者約1,000人に振る舞い, さらに地域の皆さんと一緒にもちつきをして, 新成人の門出を祝いました。 ※笹酒を飲んで1年の無病息災を願うこのイベントは今回で37回目を数え, 今や天応地区の年始の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>天応地区社会福祉協議会の四役会議において企画立案するとともに、天応地区の各種団体の代表者(各会場の責任者)で会議を開催し、役割分担を再確認し、神事会場、もちつき会場及び懇親会場などの設営や運営を行いました。</p>				
苦労した点	<p>苦労した点ではないが、この伝統行事を継続していくためには、竹の確保及び竹細工などの技術を若い人に受け継いでいく必要がある。(マンパワーの確保)</p>				
活動状況	 <p>山から切り出した竹を猪口等に加工</p>		 <p>ソーラン踊り</p>		
	 <p>来園者への振舞酒</p>		 <p>もちつき大会</p>		

番号	45	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	天応町納涼盆踊り大会			事業費	350,000円
事業の目的	<p>天応町は、春は「鯉のぼりの吹き流し」や冬には「笹酒まつりともちつき大会」という代表的なイベントがあるが、夏はこれといったイベントがなかったため平成23年に地域の皆さんの熱意で復活した「天応町納涼盆踊り大会」を平成26年も呉ポートピアパークで実施しました。今回も約75発の花火を打ち上げました。天応町民やお盆に帰省された方など1,000人もの大勢の参加者で賑わい、盆踊りを通して町民同士のふれあいが深まり、地域の連帯感や絆を再確認するとともに、盆踊りを次世代に引き継いでいく文化の継承に寄与しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成26年8月9日(土)午後5時～午後9時 場所 呉ポートピアパーク イベント広場 内容 ・盆踊り(呉音頭・地音頭・炭坑節) ・模擬店(焼き鳥, フランクフルト, フライドポテト, 枝豆, かき氷, ラムネ, ジュース, 生ビール, 缶ビールなど) ・花火(75発)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>天応町納涼盆踊り大会実行委員会が中心となって企画立案するとともに、まちづくり委員会のメンバーである自治会、女性会、体育協会や呉ポートピアパーク友の会、大浜子ども会などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。</p>				
苦勞した点	<p>盆踊りを継続的に実施し、盛り上げていくために各自治会から実行委員を2名出してもらったり、盆踊りを次世代に継承するため、子どもに参加してもらえよう、小学校で盆踊りの練習に取り組んでもらったりと工夫を重ねた。また、当日だけ参加した実行委員のなかには、参画意識が薄く積極的に動いてもらえない方も見受けられた。</p>				
活動状況	 <p>盆踊り</p>		 <p>盆踊りに参加する地域住民</p>		
	 <p>模擬店の様子</p>		 <p>盆踊りを彩る花火</p>		

番号	46	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	鯉のぼりの吹き流し			事業費	100,000円
事業の目的	<p>鯉のぼりの吹き流しは地元ボランティアにより実施しています。竹林から竹を切り出したり、鯉のぼりを取り付けて掲げるなど、地域の方が協力して作業することで、地域交流の機会を創出しています。</p> <p>また、近年ではあまり見られなくなった鯉のぼりを掲げることにより、呉ポートピアパークに来園する多数の親子連れの語らいの場を設けるとともに日本の伝統文化に触れる機会も提供しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成26年4月9日(水)～5月14日(水)</p> <p>場所 呉ポートピアパーク 海沿いの遊歩道</p> <p>内容 各自治会から2～3名の参加を得て呉ポートピアパークに18本の鯉のぼりを立てる。約1箇月後に各自治会の協力を得て鯉のぼりを撤去する。(竹竿は各自治会から2～3名の参加を得て10月頃に山から切り出し、4月まで天応中学校に保管し、4月に呉ポートピアパークに移動させる。)</p> <p>※平成13年度から始まったこの事業は、毎年80匹程度の鯉のぼりを掲げており、今では呉市の春の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会のメンバーである各自治会から2～3名の参加を得て、竹林からの竹の切り出し、鯉のぼりの取り付け、撤去に当たりました。</p>				
苦勞した点	<p>海の側に立てているため、強風に伴い海に落ちたり、破れたりするなど損傷が激しい。定期的に鯉のぼりを購入しないと事業の継続が難しくなる。(以前は不要になった鯉のぼりを募集していたが、最近は何い合わせがなくなった。)また、風雨のため鯉のぼりが竹竿に巻き付いたり、緩んだりすることが多々あるため、頻繁に点検する必要がある。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>今や地域の風物詩として定着しています</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>海沿いの遊歩道に18本の竹竿を立てます</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>竹竿は地域の竹林から切り出します</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>地域の皆さんのおかげです</p> </div> </div>				


番号	47	団体名	昭和地区まちづくり推進委員会	代表者	神田 晃典
事業名	第9回 昭和地区ふれあいフェスティバル			事業費	1,270千円
事業の目的	<p>昭和地区内のまちづくり団体などが集い、それぞれの持ち味を生かした手作りのイベントを実施、地域内の交流を深め、連携を図る。</p> <p>テーマ みんな集まれ！子どもからお年寄りまで みんなが楽しめるイベント～「おいしい」「たのしい」「なつかしい」が満載～</p>				
事業概要	<p>「おいしい」 昭和地区の郷土料理「八寸」試食会、昭和の駄菓子屋、ポン菓子、ポップコーン、カレーライス、餅とぜんざい・タラの芽の天ぷら など</p> <p>「なつかしい」 絵手紙、折紙・あやとり・おはじき、竹細工づくり、親子で藤井清水を歌い昔の遊びを楽しもう など</p> <p>「たのしい」 昭和北中学校のマーチング演奏、福祉施設作品展示と販売、写生大会、カローリング大会、もちつき体験、ヨーヨー釣りとバルーンアート、スタンプラリー、動物ふれあいコーナー、消防士放水体験 など</p> <p>延べ参加人数 12,113人</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり推進委員会を構成する各団体から推薦された20人で「ふれあいフェスティバル実行委員会」を結成し、企画段階からイベント実施までを行った。				
苦労した点	当日は駐車場がないことから近隣店舗などに駐車する参加者が目立ち、店舗から苦情が多かった。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>●絵手紙体験</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>●懐かしの味の販売</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>●カレーライス販売</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>●電車模型展示会</p> </div> </div>				

番号	48	団体名	昭和地区まちづくり推進委員会	代表者	神田 晃典
事業名	平成27年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事			事業費	641千円
事業の目的	昭和地区をあげて、地区在住の新成人を祝福・激励するために式典・行事を開催。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・司会進行(呉昭和高校の生徒) ・国歌・呉市歌斉唱(呉市藤井清水の会) ・音楽の贈り物(昭和中学校吹奏楽部) ・郷土料理「八寸」試食会(昭和西女性会) ・ぜんざいのおもてなし(昭和東女性会) ・アンケートの実施(第19・21区民児協) <p>新成人出席者 309人(対象の89%)</p>				
この事業を企画・実施した人	主催は昭和地区自治会連合会と昭和地区まちづくり推進委員会で、昭和西女性会、昭和東女性会、第19区・21区民生委員児童委員協議会、呉市藤井清水の会、呉市消防団昭和分団、昭和中学校吹奏楽部、呉昭和高校放送部の協力で実施した。				
苦労した点	成人式にふさわしい華やかな演出や会場設営をするにあたり、市民センターでは制約が多い。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>●新成人による二十歳の誓い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>●女性会の装飾の前で記念写真</p> </div> </div>				


番号	49	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町民運動会			事業費	500,000円
事業の目的	核家族化が進んだ中、スポーツ・レクリエーションをとおして、地域住民の世代を超えた交流を行い、絆を深めるとともに、イベントを計画・実施する中で、まちづくりリーダーの育成と人材発掘を図る。				
事業概要	<p>日時 平成26年4月20日(日)</p> <p>時間 8時30分～12時30分</p> <p>場所 郷原小学校グラウンド</p> <p>内容 プログラムは福祉施設入所者や保育所園児等が参加するオープン競技と、12自治会が赤白に分かれての対抗戦で構成。</p> <p>競技種目:徒競争, スプーンリレー, 親子2人3脚, うずまきリレー, たまいれ, フォークダンス, 大綱引き, ムカデ競争, パン食い競争, ホールイン1, 対抗リレー</p>				
この事業を企画・実施した人	町民運動会実行委員会(まちづくり推進委員と郷原地区体育協会で組織)				
苦勞した点	少子高齢化の地域格差が広がりつつあるため、選手集めに苦勞する状況にある。対策として、従来5地区対抗で実地していた競技を赤白対抗戦に変更し開催した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>前回優勝は学びの丘自治会</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>寒い日でしたが、子どもは元気です</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>今年は無事に開催できました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>もちろん大人もがんばります</p> </div> </div>				

番号	50	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあい・いきいきサロン			事業費	50,000
事業の目的	高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集い、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守り支援する。				
事業概要	<p>70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。</p> <p>時 間 10時～14時</p> <p>内 容 午前中は、サロンの歌、今月の歌、お誕生会、健康体操、各種趣味講座等を実施。昼食をはさんで午後からはステージイベント等を楽しむ。</p> <p>特 徴 地元の小・中学校や保育所と連携し、世代間交流を定期的を実施。医療機関や警察・交通安全協会、消防署等の協力により講演会や生活安全指導を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	サロン運営委員会(地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織)				
苦勞した点	高齢者のサロン参加(外出支援)を地域全体に広げるため、各自治会組織の協力員の組織化と地域リーダーの養成。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>中学校全校生徒参加の大合唱</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>民児協担当で健康体操</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小学生児童とのふれあい</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>保育所園児から手作りメダル贈呈</p> </div> </div>				

番号	51	団体名	グランドゴルフ喜楽会	代表者	横田 浩
事業名	鯉のぼりの吹き流し			事業費	約12万円
事業の目的	<p>当会は、普段から大津泊庭園でグランドゴルフを楽しんでいる。この大津泊庭園に愛着があり、多くの方に楽しみ喜んでもらえる憩いの場としたかった。そこで、昔は、各家庭で鯉のぼりをあげていたが、最近はその姿を見ることがなくなっていることを考え、この場所で「鯉のぼりの吹き流し」をし、今の子ども達にも、昔からある伝統を知って楽しんでもらい、大人も昔懐かしい風景を楽しんでもらいたく実施した。</p>				
事業概要	<p>大津泊庭園において、4月下旬～5月中旬までの間 高さ約10m、幅50mの間に約40匹の鯉のぼり 別に竹竿でも数匹泳がした。 ※鯉のぼりは、地元住民からの寄付でスタートした。現在は、彩りを良くするために明るい色を補充した。 下蒲刈地区まちづくり協議会の補助で、支柱やワイヤー・コンクリート基礎などの材料費は購入し、材料の加工や設置は、当会のメンバーで協力して行った。</p>				
この事業を企画・実施した人	喜楽会のメンバーが発案し実施した。				
苦労した点	<p>平成24年度は、大津泊庭園は風がきつく舞うので鯉のぼりがよく絡まり鯉のぼりが傷んだ。 平成25年度は、ワイヤー部分を改良しあまり絡まなくなった。 平成26年度は、鯉のぼりに手を加えて仰向けにならないように工夫した。</p>				
活動状況	<p>当会が企画立案した「子ども祭り」をはじめ「安芸灘とびしま海道ウォーキング大会」などで会場に華を添えた。また、地元住民はもとより、島外からの観光客やゴールデンウィークの帰省客らの憩いの場となった。</p> <p>鯉のぼりの吹き流し</p>  <p>ウォーキング大会 H26.5.10</p>  <p>こども祭り H26.5.5</p> 				

番号	52	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村誠二
事業名	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク			事業費	8,620円
事業の目的	平成25年度に『“かわじり”の新しいマップを作ろう！！プロジェクト』で作成した『いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAP』を全戸配布するだけでなく、川尻町運動普及推進委員会と協働し、MAPのコースを歩く『かわじりMAPウォーク』を開催していく(年2回程度)				
事業概要	<p>【平成25年度】 かわじりMAP 作成 4,500部 ※ワークショップを4回開催(H25年10月12日, 19日, 26日, 11月9日)</p> <p>【平成26年度】 6月中旬 かわじりMAP 全戸配布 ※ホームページにも掲載 11月9日(日) 川尻おどろきロードコースを歩こう <u>※雨天中止</u> 【予約(運推除く)・・・38名(中学生ボランティア18名含む)】 2月8日(日) 歴史と潮の香り漂うコースを歩こう 【参加者・・・80名(中学生ボランティア34名含む)】</p>				
この事業を企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会, 川尻地区自治会連合会, 川尻町運動普及推進委員会, 川尻保健出張所, 川尻中学校, 参加者の方々				
苦勞した点	関係団体との連絡調整				
活動状況					

番号	53	団体名	川尻町新成人を祝う会実行委員会	代表者	原田邦子																				
事業名	川尻町新成人を祝う会			事業費	382,722円																				
事業の目的	<p>新成人が企画・運営を担い始めて5年目となる「実行委員会」の活動は、「地域全体で祝う」新成人を祝う会の開催に向けて、中学生から地域の方々まで世代を超えて開催を支えている。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】 ①懇親会の企画立案 ②当日運営(新成人受付・式典司会・懇親会の司会運営)</p>																								
事業概要	<p>【実行委員会】 平成26年9月から活動開始</p> <table border="1"> <tr> <td>①9/26(金)</td> <td>顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア 対象者確認</td> </tr> <tr> <td>②11/16(日)</td> <td>企画絞り込み・役割分担</td> </tr> <tr> <td>1/8(木)</td> <td>中学生ボランティアへ説明 新成人へのプレゼント検討・準備</td> </tr> <tr> <td>1/10(土)</td> <td>リハーサル (詳細確認・シナリオ校正・企画準備等)</td> </tr> </table>		①9/26(金)	顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア 対象者確認	②11/16(日)	企画絞り込み・役割分担	1/8(木)	中学生ボランティアへ説明 新成人へのプレゼント検討・準備	1/10(土)	リハーサル (詳細確認・シナリオ校正・企画準備等)	<p>【当日】</p> <table border="1"> <tr> <td>日時</td> <td>平成27年1月11日(日)10:00～13:00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>打合せ・準備・リハ9:30～ 後片付け～14:00</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>呉市川尻まちづくりセンター</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">内容</td> <td>受付(新成人受付・来賓受付)</td> </tr> <tr> <td>記念撮影(平台片付け・式典準備)</td> </tr> <tr> <td>式典(司会・はたちの誓い)</td> </tr> <tr> <td>懇親会(司会・運営)</td> </tr> <tr> <td>抽選会・恩師エピソード披露・中学生からのプレゼント(中学校校歌)</td> </tr> </table> <p>※赤字は実行委員会・中学生ボランティア担当</p>			日時	平成27年1月11日(日)10:00～13:00		打合せ・準備・リハ9:30～ 後片付け～14:00	場所	呉市川尻まちづくりセンター	内容	受付(新成人受付・来賓受付)	記念撮影(平台片付け・式典準備)	式典(司会・はたちの誓い)	懇親会(司会・運営)	抽選会・恩師エピソード披露・中学生からのプレゼント(中学校校歌)
①9/26(金)	顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア 対象者確認																								
②11/16(日)	企画絞り込み・役割分担																								
1/8(木)	中学生ボランティアへ説明 新成人へのプレゼント検討・準備																								
1/10(土)	リハーサル (詳細確認・シナリオ校正・企画準備等)																								
日時	平成27年1月11日(日)10:00～13:00																								
	打合せ・準備・リハ9:30～ 後片付け～14:00																								
場所	呉市川尻まちづくりセンター																								
内容	受付(新成人受付・来賓受付)																								
	記念撮影(平台片付け・式典準備)																								
	式典(司会・はたちの誓い)																								
	懇親会(司会・運営)																								
	抽選会・恩師エピソード披露・中学生からのプレゼント(中学校校歌)																								
この事業を企画・実施した	<p>実行委員会(成人者5人・次年度成人者2人・保護者5人・地区社協(主催者)1人・川尻支所(サポート役)2人)・川尻町女性会・広交通安全協会母の会川尻支部・警察・川尻中学校・川尻町地区社会福祉協議会</p>																								
苦労した点	<p>①実行委員の募集・・・地区広報誌「川尻かがやき」やホームページにて実行委員の募集や活動の様子の紹介を行っているが、現在は、声掛けをした当時の中学校生徒会役員が中心となり活動している状況。平成25年度から導入した中学生ボランティアの取り組みが、将来につながることを期待している。</p> <p>②次年度成人者の参加・・・次年度・当該年度・前年度の3学年の成人世代が関わることを目標として活動しているが、今年度、初めて当日運営に次年度成人者2人が加わり、受付や式典準備などの裏方に携わったことで、来年度の実行委員会活動のきっかけをつくることのできた。</p> <p>③中学生ボランティア・・・生徒会役員8名が応募。裏方として受付や式典準備、片付けなど積極的に活動し、懇親会では、事前に大きな歌詞カードを準備し、中学校校歌をお祝いとして歌った。</p>																								
活動状況	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実行委員による新成人受付</td> <td colspan="2">来賓受付や舞台転換も経験(中学生ボランティア)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>式典司会</td> <td>懇親会の目玉 抽選会</td> <td>中学生からのプレゼント</td> </tr> </table>								実行委員による新成人受付	来賓受付や舞台転換も経験(中学生ボランティア)					式典司会	懇親会の目玉 抽選会	中学生からのプレゼント								
																									
実行委員による新成人受付	来賓受付や舞台転換も経験(中学生ボランティア)																								
																									
式典司会	懇親会の目玉 抽選会	中学生からのプレゼント																							

番号	54	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村誠二
事業名	川尻町敬老会			事業費	1,265,562円
事業の目的	<p>川尻地区まちづくり計画(平成21年8月呉市川尻町まちづくり委員会発行)の「高齢者の長寿を地域全体で祝う」を目標に、各種団体との協働の幅を少しずつ増やしなが、敬老者に喜んでいただける敬老会を開催できるよう活動している。</p> <p>【H20年度～】敬老会打合会開催・リハーサル協力依頼(主催者のみ) 【H21年度～】敬老会打合会開催・リハーサル協力依頼(運営協力団体・主催者)</p> <p>なお、当初から司会、交通整理や運営協力(主催者含む)との協働も継続中。</p>				
事業概要	<p>【敬老会打合会】平成26年8月20日(水)18時～19時(参加者:9人) 各協力団体の役割分担の確認と当日の流れを確認。</p> <p>【リハーサル・準備】平成26年9月10日(水)・12日(金) リハーサルでは、司会を担当する朗読ボランティア ハートフルが、アトラクション出演者と打合せをしながら、直前までシナリオを練ったり、裏方を担当する主催者は舞台転換の確認を行い、本番に備えた。</p> <p>【敬老会当日】平成26年9月15日(月・祝) 9時～12時(敬老者:1,350人) 場所 呉市川尻まちづくりセンター(ベイノロホール) 内容 【第1部】式典(司会:朗読ボランティア ハートフル) 【第2部】アトラクション(司会:朗読ボランティア ハートフル) ①合唱(川尻光幼稚園) ②太鼓演奏(川尻保育所) ③合唱(川尻小学校4年生) ④神楽(伊賀和志神楽団「葛城山(かつらぎさん)」)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>川尻町地区社会福祉協議会 【協力団体】ボランティアさざなみ、呉市第23区民生委員児童委員協議会、広交通安全協会 川尻支部、同母の会、川尻地区老人クラブ連合会 【アトラクション】川尻光幼稚園、川尻保育所、川尻小学校、伊賀和志神楽団 【司会】朗読ボランティア ハートフル</p>				
苦労した点	<p>敬老者に喜んでいただくために、記念品やアトラクションの内容について3月～6月にかけて正副会長会議でアイデアを持ち寄り、協議した。 平成20年度から取り入れた「打合会」や「リハーサルからの協力依頼」は継続していることで、定着しつつある。</p>				
活動状況	 <p>交通整理</p> <p>受付</p> <p>米寿表彰</p> <p>ご来場の方々</p> <p>記念品配布</p>				





番号	55	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	綿野成泰
事業名	かわじり元気まつり			事業費	2,349,321円
事業の目的	<p>川尻町元気まつり実行委員会主催 2000年に安芸灘大橋有料道路が開通したことをきっかけに、川尻町内外に「かわじり」をアピールして、川尻町の魅力をさらに向上させたり、活性化につなげるために始まった元気まつりは、毎年11月の第3日曜日の開催が定着し、毎年約5,000人で賑わう。 開催までに、実行委員会(3回)や企画部会(5回)、バザー部会を重ね、各種団体をはじめ多くの関係者が一丸となって準備を行う。中学生も前日の準備や当日運営にボランティアとして加わり、共に、まつりを支えている。</p>				
事業概要	<p>「みんなが集い みんなで創り みんなが楽しむ！」 日時 平成26年11月16日(日)9時～15時 場所 川尻グラウンド 【オープニング】野呂岩海太鼓(野呂岩海太鼓保存会) 【メインステージ】筆のパフォーマンス(堀田教室)・仮面ライダーライブショー スペシャルライブ(川尻中学校吹奏楽部)・野呂太鼓(川尻小学校6年生) それ行けちびっこ応援太鼓(かわじり保育所)・農産物品評会・ギネスに挑戦!? かわじりモノ尻〇×クイズ・ラッキーナンバーゲーム 等 【わくわくイベント】ミニSL・スカイビュー 【食の元気市】焼きいりこやイノシシの串焼きなど広域8町の特産品を楽しむ</p>				
この事業を企画・実施した人	川尻町元気まつり実行委員会・川尻町まちづくり委員会・川尻町地区社会福祉協議会・協賛企業				
苦労した点	<p>今年から会場の配置を変更したので、会場の配置を検討したり、新しいテントの位置に合わせて仮設電源を設置するのに時間がかかり、実行委員会のメンバーも何日も前から準備にあたった。 毎年、マンネリ化しないよう新企画を何にするか、それに伴う財源確保。</p>				
活動状況	<p>筆のパフォーマンス</p>  <p>野呂海岩太鼓</p>  <p>ギネスに挑戦!?</p>  <p>農産物品評会</p>  				

番号	56	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	2014おんどフェスティバル			事業費	2,300,000円
事業の目的	<p>自然に親しみながら、研修、体力づくり等を行うとともに町民相互のふれあいの場、文化、体育活動の中心として、幅広く活用する目的で“マリンふれあいの里大浦崎公園”(現在の名称は大浦崎スポーツセンター)が昭和60年度に完成しました。</p> <p>この公園の完成を契機として、上記に掲げる当該公園の整備目的を達成するために当事業が開催されることとなり、今年度で29回目を数えております。</p>				
事業概要	<p>毎年、町内外から5,000人を超える来場者があり音戸町で一番大きなイベントです！</p> <p>日時：平成26年11月9日(日) 9時30分～15時</p> <p>場所：大浦崎スポーツセンター</p> <p>内容：○ステージ企画 6団体による演技・演奏等、抽選会・餅まき等のお楽しみコーナー</p> <p>○会場企画 29店舗による飲食物等の出店 消防車両展示・救助体験コーナー、白バイ等体験搭乗 音戸高校カヌー部によるカヌー体験教室 ○少年ソフトボール大会(今回は雨天のため中止)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会等、各種団体(まちづくり協議会の構成員)の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。</p> <p>また、音戸高校ボランティアの協力も、会場内の清掃、出演、出店と大きな役割を担っています。</p>				
苦労した点	<p>・より多くの人に参加でき楽しんでもらうための企画、催し物の考案</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>音戸清盛太鼓</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>カヌー体験乗船</p> </div>				

番号	57	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	トワイライトふれあいフェスタ			事業費	900,000円
事業の目的	<p>人口減少、特に少子高齢化の進展及び多岐にわたるレジャー施設等の進出により、音戸町において、子供と大人が楽しくふれあうことができる交流の場が減少しております。</p> <p>また、地域の核となる音戸市民センターは、新旧音戸大橋を背後に音戸の瀬戸を一望できる絶好のロケーションと広い前庭、ウッドデッキテラスを有する独特の建築構造となっております。</p> <p>このような負と正の現状を踏まえ、地域の皆さんとの協働により、交流と賑わいの場を創造する目的で、毎年1回、1,000人以上の来場者により実施しております。</p>				
事業概要	<p>海辺の潮風を受けながら、ビアガーデン風の出店、ステージでの催し物があります！</p> <p>日時：平成26年7月26日（土） 17時30分～20時</p> <p>場所：音戸市民センター（前庭・2階テラス）</p> <p>内容：○ステージ企画（簡易ステージ製作） 音戸清盛太鼓、キッズダンス、ハワイアン、フラダンス、コンボバンド</p> <p>○出店 生ビール、缶酎ハイ、お酒、清涼飲料水、お茶 フライドポテト、鶏の唐揚げ、タコ天、豚カツ、焼き肉、焼き鳥、焼きそば、焼きイカ 巻き寿司、炊き込みご飯 フランクフルト、綿菓子、ポップコーン、かき氷 スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会等、各種団体（まちづくり協議会の構成員）の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。</p>				
苦労した点	<p>より多くの人に参加でき楽しんでもらうための企画、催し物の考案（新鮮なアイデア）</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ステージ企画</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>賑わいの様子</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>全体の様子</p> </div>				


番号	58	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会	代表者	由元 洋平
事業名	島コin倉橋(広島県最南端で見つける恋)			事業費	380,000円
事業の目的	人口減少や少子高齢化の一因とされる未婚者の増加に歯止めをかけるために、地元の未婚男女に出会いの場を創出する。				
事業概要	<p>○日時:平成27年10月19日(日)9時~17時(呉合同庁舎前集合・解散)</p> <p>○場所:倉橋町桂浜周辺</p> <p>○交通手段 大型貸切バスにて往復</p> <p>○内容:男性15名・女性14名,計29名が桂濱神社での良縁祈願,トークタイム,火お越しから協力して始めたバーベキュー,フリータイムを通じて交流し,4組のカップルが誕生した。</p> <p>○参加者負担金:男性6,000円,女性3,000円</p> <p>○参加者居住地内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性 倉橋町6名,呉市5名,大崎上島町1名,尾道市1名,東広島市1名,三次市1名 ・女性 広島市8名,呉市3名,東広島市1名,江田島市1名,廿日市市1名 <p>○参加者年代内訳 20代6名,30代18名,40代5名</p>				
この事業を企画・実施した人	地元で農業・漁業・医療機関等に就業する若者が中心となって企画・立案し,観光ボランティアガイドの会などの地元住民,まちづくりサポーターなどのまち協関係者,市職員が協働実施した。				
苦労した点	告白タイムの方法,交通手段や広報・募集方法等				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>第3回 島コin 広島県最南端で見つける恋 in 倉橋</p> <p>2014年 10.19 (日曜日) 呉合同庁舎前付近集合 9:00~受付 9:30 出発</p> <p>松本裕見子 (高知校/婚活アドバイザー兼講師)</p> <p>●ご応募・お問合せ先● 宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会 R: 0823-53-1111 Fax: 0823-53-1712 E-mail: kurahashi@city.kurahashi.jp (呉市役所 健康福祉センター)</p> <p>主催: 宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会 【新築開校 9月28日(金)】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昼食後のフリータイム</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ポスター</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">昼食は倉橋の新鮮な魚介類,焼き肉バーベキュー</p>				

番号	59	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝朝市部会	代表者	木戸 慶治
事業名	くらはし お宝朝市			事業費	100,000円
事業の目的	新鮮で良質な農水産物をはじめとする倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興とともに倉橋町の活性化を図る。				
事業概要	日時:毎月最終日曜日 9時～11時まで 場所:倉橋桂浜温泉館 万葉の里 内容:地元特産品の販売及び各種イベント (野菜・お宝トマト・石地みかん・鮮魚・ちりめん・牡蛎・豆腐・お花・無添加パン等) お楽しみイベント:毎月 お買い物スタンプラリー 11月 オープン5周年記念市 12月 餅つき大会				
この事業を企画・実施した人	倉橋産直部会, 倉橋島漁業協同組合, 倉橋西部漁業協同組合, 呉広域商工会女性部などに加盟している団体と地元の特産品販売店が中心となって企画し, 市職員, 市職員OBなどが協働実施しています。				
苦労した点	雨天時の対応や広報の方法, 出店者やボランティアスタッフの確保等				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">朝市会場風景</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 餅つき大会 5周年記念市開店前 </p>				

番号	60	団体名	蒲刈町まちづくり協議会	代表者	会長 原田 福造
事業名	第14回 かまがり恵みフェア			事業費	1,000,000円
事業の目的	蒲刈町の観光資源を広く紹介し観光客の誘致に努め、観光事業、各種産業の発展に寄与することを目的とする。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・広場において町内外から特産品などの販売するブースを開設した。出店件数は20店舗。 ・「潮騒の館」「恵みの館」「輝きの館」の3館を廻りスタンプを集めメイン会場の県民の浜の抽選会場で抽選を行うと豪華賞品が当たるスタンプラリーを開催した。 ・イベントコーナーにおいては、蒲刈太鼓、舞踊、吉本の爆笑ライブ、ピエロの愉快的なバルーショーなどを披露した。また広場においてけん玉、駒廻し、凧揚げコーナーを実施した。 				
この事業を企画・実施した人	蒲刈町まちづくり協議会のメンバー				
苦勞した点					
活動状況	 <p>ステージイベント</p>		 <p>出店</p>		
	 <p>けん玉・凧揚げ・駒まわし</p>		 <p>抽選</p>		

番号	61	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	ええとこ村プロジェクト事業(遊休農地活用)			事業費	260,000円
事業の目的	<p>安浦地区は、合併町の中で一番大きい面積を誇り、山林・農地面積が有数の規模を誇る農業振興地域であるが、急激な高齢化で遊休農地が様々な諸問題を抱えている。この状況を踏まえ、新たな休耕田活用とした農産物づくりと、農を通じたふれあいの場を創出する。また、新たな「地域ブランド」を発掘し、研究・開発を進め安浦の農産物の振興を図る。</p>				
事業概要	<p>安浦の文化拠点である「南薫造記念館」横と安登地区の国道沿い、内平地区の遊休農地を活用し、蕎麦とひまわり栽培を行う。</p> <p>■ひまわり メンバーが、4月中旬に約18アール(1反8畝)に種まきし8月に開花。 地元安登小学校児童を招待し、ひまわり迷路イベントを実施した。</p> <p>■そば 9月上旬3ヶ所の農地で種まきを行い、10月下旬一面に白い蕎麦の花が咲き乱れ、訪れる観光客を魅了した。種まきから収穫まで、地元安浦中学校の児童もボランティアで参加した。協議会メンバー・作業に参加したボランティアの方を招待し、「収穫祭」を行った。 地元の蕎麦打ち名人が打った新蕎麦を皆で食し、地域の参加意識の向上や世代間交流が出来た。今後も継続し、安浦の地産食として、学校や飲食店など活用してもらい地域活性できればと考えている。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の事業企画部「ええとこ村分科会」のメンバー13人が中心となって企画立案し、班長を筆頭に全員が、種まきから収穫まで携わった。また、農業経験が無かったので、地元の精通した蕎麦づくりのスペシャリストに参加してもらい、全行程の農業指導を行っていた。</p>				
苦労した点	<p>蕎麦の収穫は、お米のようにコンバインなどの機械が使えず、全てが手刈りでを行い、脱穀も「足踏脱穀機」を使い、全て、昔ながらの行程で行ったため、肉体的に辛い部分があった。しかし、「日本の伝統風習を肌で感じとれ、楽しかった」と、メンバーから達成感が感じとれた。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>遊休農地を活用しひまわりが開花</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>安登小学校児童と迷路体験イベント</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>蕎麦の花が開花 3ヶ所の農地で栽培</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>蕎麦の収穫祭 地元そば打ち名人も参加</p> </div> </div>				

番号	62	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	後生に残す「まちしるべ石碑」事業			事業費	560,000円
事業の目的	安浦は、江戸時代から明治にかけて内海・三津口・野路・安登の4地区が合併等繰り返り、10ヶ村が一つの町になった歴史がある。それぞれの地域には古い地名や史跡・伝説・伝統行事等文化的な資源が多いが、現在忘れ去られようとしている。これらを石碑に刻み、後生に伝えるとともに郷土の愛着と地名の由来や歴史・文化を知ってもらうことを目的とする。				
事業概要	平成24年度から事業開始し、初年度は安登地区の6本を設置、平成25年度は野路地区10本（10自治会区）を設置、26年度は三津口地区5本を計画し、3月で完了する予定です。 「5ヶ所：深之浦・子之浦・三津口・古新開・水尻」 碑文作成にあたり、設置予定地域の歴史探訪を行い、研修後、地域の自治会長とまち協メンバーが碑文を製作します。設置は地域の中心地や神社・公共施設を主に選定し、老若男女が参加する記念事業として実施する。				
この事業を企画・実施した人	先進地として「阿賀まちづくり協議会」へ研修に行き、当事業企画部会が実行する。まちづくり協議会の事業企画部（看板・マップ分科会）と事務局が中心となり企画を行った。				
苦労した点	碑文の作成。限られた文字数の中でいかに地域の特色等を伝えるか。メンバー間が相当悩んだ。町史など文献調査や、優先順位を決めて伝える文言をまとめる点に時間を要した。				
活動状況	 <p>平成24年度の石碑事業 安登地区6ヶ所を設置しました。</p>  <p>平成25年度の石碑事業 「市原地区」「中切地区」 その他計10本を設置</p>				

番号	63	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	人材育成研修事業「安浦たんと塾・先進地研修」			事業費	290,000円
事業の目的	<p>「まちづくりは人づくり！」をテーマに町内におけるリーダーの育成と地域の再発見を主に、フィールドワーク・先進地研修を開催する。</p> <p>まずは、自分が学び・知り・楽しむことで地域行事に参加し、少しずつ関心の持った方を協議会へ加入する目的である。</p> <p>安浦を大きく4つに分けて、文化・史跡等を巡る講座や特色あるまちづくりをしている先進地などを研修する。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●26年6月28日 三津口地区歴史探訪「深之浦・子之浦編」 ●26年7月27日 三津口地区歴史探訪「三津口中心部編」 ●26年9月20日 三津口地区歴史探訪「水尻・古新開編」 <p>※各地区の探訪は、地域の長老・自治会長・有識者に参加しガイドしていただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●26年11月6・7日 先進地視察研修「兵庫県加古川市・高砂市」 <p>視察先:加古川グリーンシティー防災会, 高砂市(コンクリート武智丸市民交流記念)</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会の事業企画部と事務局が中心となって企画を行った。				
苦勞した点	探訪する際の資料づくり。				
活動状況	<p>●やすうらたんと塾「歴史探訪」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>子之浦・深之浦探訪 三津口中心部探訪 水尻・古新開探訪 各地域の歴史探訪シリーズ「地域の長老や有識者の方がガイドした」</p> <p>●まちづくり先進地研修「兵庫県」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>防災の取り組みを研修(加古川グリーンシティー)町の史跡「コンクリート船武智丸の建造地「高砂市」との市民交流</p>				

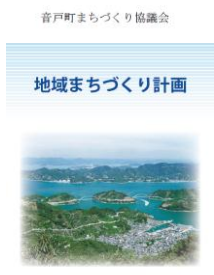
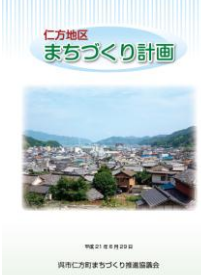
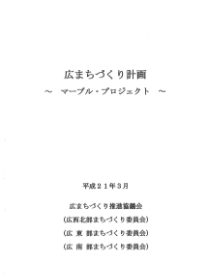
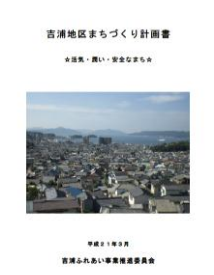
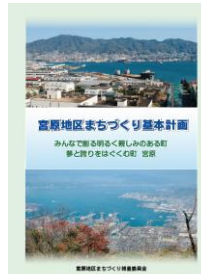
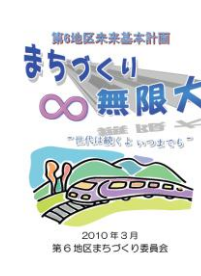
番号	64	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一																		
事業名	伝統的料理の教室			事業費	192,000円																		
事業の目的	<p>高齢化の進行に伴い、冠婚葬祭等での料理も手作りすることが難しく、仕出しを取るようになり、豊浜町の食材を使った伝統的な料理も作られなくなってきています。このため、豊浜町の伝統的な料理(食文化)が消えていくのではという危機感から、これらを記録し、後生に残すこととしました。</p>																						
事業概要	<p>豊浜町内の各地区に残る伝統的な料理についてお年寄り(80歳以上)から聞き取り調査を行いました。 そして、調査に協力してもらったお年より(各種サロン)を中心に実際に料理をしてもらい、作り方を記録するとともに写真を撮影しました。 その後、聞き取り調査や実際に料理してもらったときの記録と写真を整理し、調査票を仕上げ、レシピ(製本化)に向けて内容を詰めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の進め方について協議(6月) ○ 各地区のお年寄りから聞き取り調査(7月～9月) ○ 料理の再現(8月～1月) ○ レシピの編集(1月～2月) ○ レシピの印刷(3月) 																						
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー																						
苦労した点	<p>料理の再現では1回に3品程度を並行して作るため、写真撮影が十分できませんでした。伝統的料理ということなるべく昔の食材での調理を心がけましたが、どうしても現代の食材(特に調味料)が使われました。 残念ながら今回の調査でわかった料理は、町内の食堂では食べることはできません。</p>																						
活動状況	<p>今回の調査で再現した料理(一部)</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>しば餅</td> <td>押し寿司</td> <td>ひじきの白和え</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>葬式の膳</td> <td>巻き寿司</td> <td>鯛飯</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>いぎす豆腐</td> <td>ばら寿司</td> <td>鯛そうめん</td> </tr> </table>								しば餅	押し寿司	ひじきの白和え				葬式の膳	巻き寿司	鯛飯				いぎす豆腐	ばら寿司	鯛そうめん
																							
しば餅	押し寿司	ひじきの白和え																					
																							
葬式の膳	巻き寿司	鯛飯																					
																							
いぎす豆腐	ばら寿司	鯛そうめん																					

番号	65	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	第10回 豊町産業文化祭			事業費	450,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、産業(果実品評会やバザー)と文化(舞踊、歌謡などの発表会)の祭りを実施する。				
事業概要	<p>日時:平成27年2月7日・8日 場所:安芸灘交流館(豊まちづくりセンター)</p> <p>①開会式での健康遊具の披露、太鼓演奏、もちまき ②産業部門 果実品評会、健康祭り、輪投げ大会、もちつき、米すくい、射的大会、ビンゴゲーム、大抽選会、焼ガキむきカキ・唐揚げ・うどん・たこ飯・寿司・いぎす豆腐・たこやき・やきそば・みかん味噌・みかん餅・別製アイス・クレープ・じゃこ天・礼文島海産物等販売。農業機械・人形・印鑑の展示販売。 ③文化部門 謡曲・フラダンス・箏曲・舞踊・カラオケ・舞踊・ジャズダンス・バレエ・コーラスの発表会 「マロン陵ものまねステージ」 絵画・押し花・写真・生け花・俳句・墨絵、豊小・豊浜中学校・ゆたか幼稚園作品展。</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会、豊町地区社会福祉協議会、豊町産業文化祭実行委員会が主催であるが、特に、呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員、文化協会の各種団体、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦労した点	昨年、新市民センターが建設され、会場の周辺が一新されても非常に狭く来訪者の駐車場の確保に苦慮した。今年は、過去にない晴天で、迎えた初日は、非常によかったが、二日目は、一転して、雨が降ったり、風が強くなど、屋外出店者も苦労して営業を続けられていた。しかし、実行委員会、出展者・参加者の連携・協力により無事に2日間の祭りを実施することができた。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>開会式での餅まき大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>果実品評会</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ホールでの発表会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>展示販売状況</p> </div> </div>				

番号	66	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	豊町七夕納涼祭			事業費	2,400,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、ステージイベントや花火大会を実施する。				
事業概要	<p>日時:平成26年8月2日(土) 18:00~21:00 場所:小長港フェリーターミナル前広場他 参加者数:約4,500名 内容: 「ダンス&フィットネススタジオG1」によるダンスショー 「D'sFACTORY」バンドライブ 「瀬戸 香月」,「東 ゆかり」,「高山 秋子」,「葵 かを里」ステージ 小長港の沖合いに台船を浮かべ、3,000発の海上花火大会を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会、豊町地区社会福祉協議会、豊町産業文化祭実行委員会が主催であるが、特に、呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員や呉広域商工会豊支所が中心となって実施した。				
苦勞した点	<p>この大会は地元の商工会加盟店や各種団体・個人に協賛金として約150万円集めて実施している(残りはまちづくり協議会からの助成金)。そのための集金活動が非常に大変である。このイベントは、豊地区外からも来客されるので、下蒲刈・蒲刈・豊浜地区等の団体や個人にも協賛金をお願いしている。また、これら地区外からのお客様の駐車場確保は大きな課題となっている。</p> <p>また、今年は、途中から雨が降り出し運営が大変だった。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ステージイベント</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">花火大会</p>				

番号	67	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	豊町町民運動会			事業費	100,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「人々がふれあう「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、地区別対抗戦による町民運動会を実施する。				
事業概要	<p>日時:平成26年6月8日(日)</p> <p>場所:豊小学校グラウンド</p> <p>内容:9地区に分かれて競技する。満水競争、リレー、タル転がし、玉入れ等の競技がある。</p> <p>参加人数:約1000人</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会、豊町体育協会、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦労した点	住民の高齢化で毎年選手集めが大変であるが、地域コミュニティ醸成には欠かせない豊地区の伝統行事である。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>選手入場</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>選手宣誓</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学生リレー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>区対抗リレー</p> </div> </div>				

(参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像、地域課題の克服等）の実現に向け、おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で、地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。
この計画に基づき、地域自らが主体となったまちづくりが進められています。

ゆめづくり事例集2014

発行：平成27（2015）年2
月

編集：呉市市民部地域協働課，
各市民センター